



マイクロリサーチ デバイス管理サービス

MRL-IDM

管理者向け運用マニュアル

ver.1.1.5

はじめに

本マニュアルは、「マイクロリサーチ デバイス管理サービス」運用マニュアルです。

以下 MRL-IDM や本システムと出てくる箇所は「マイクロリサーチ デバイス管理サービス」のことを指します。

本編は、管理者向けに、運用していくにあたってのフロー、操作手順などについて記されています。

■本書の内容について

- 本書では、MR-GMxシリーズのデバイスを、総称して「**デバイス**」として表記します。

固有の機能や、説明箇所には、それぞれの型番を明記しておりますのでご注意ください。

- 以下の文字は非常に間違いやすいので注意して下さい。

半角数字「1」(イチ)と半角アルファベット小文字「l」(エル)、半角アルファベット大文字「I」(アイ)

半角数字「0」(ゼロ)と半角アルファベット小文字「o」(オー)、半角アルファベット大文字「O」(オー)

- 本書では一部の語句について略語表記している箇所があります。

- 本書中の設定画面は開発中のものです。実際の仕様と異なる場合があります。

- 以下のマークが付いている箇所は本システムをお使い頂く上で必ず確認または注意して頂きたい項目です。



ここに記載されている内容を必ず確認・注意して下さい。

- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

- ・「Chatwork」は Chatwork 株式会社の商標または登録商標です。
- ・「slack」は、Slack Technologies, Inc.の登録商標です。
- ・「Microsoft Teams」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

注意事項

MRL-IDM をご利用頂く前に以下の内容をあらかじめご確認下さい。

■デバイスの動作モードについて

MRL-IDM は、ルーターモード以外（アクセスポイントモード、ユニバーサルリピーターモード）で動作しているデバイスでは利用できません。

■デバイスのファームウェアバージョンについて

MRL-IDM をご利用頂く場合、デバイス側のファームウェアを以下のバージョン以降にバージョンアップする必要があります。

MR-GM3 シリーズ：v1.04.02 以降

MR-GM3L シリーズ：v1.04.02 以降

MR-GM3-W：v1.04.02 以降

上記より古いバージョンをご利用の方は、必ずファームウェアバージョンアップを行ってからご利用を開始して下さい。

MR-GM5A シリーズ、MR-GM5L シリーズは、出荷ファームウェアより対応可能です。

■デバイスの MAC アドレスについて

MRL-IDM では、デバイスの MAC アドレスで機器の判別を行います。

MRL-IDM 上でデバイスの MAC アドレスを正しく登録しないと、死活監視やステータスメールの取得が正しく行われませんのでご注意ください。

確認

デバイスの MAC アドレスは、本体底面のシール・設定画面等で確認する事ができます。

■デバイスグループの設定について

MRL-IDM では、デバイスをグループで管理します。

MRL-IDM で異なる機種（MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズ、MR-GM5A シリーズ、MR-GM5L シリーズ）を混在して使用する場合は、必ず機種毎にデバイスグループを分けて登録して下さい。

例：MR-GM3-DKS、MR-GM3-M、MR-GM3L-DKS、MR-GM3L-M を混在して使用する場合

デバイスグループ A：MR-GM3-DKS、MR-GM3-M

デバイスグループ B：MR-GM3L-DKS、MR-GM3L-M

もくじ

1.MRL-IDM とは？	1
2. MRL-IDM における管理者・ユーザーの役割	3
3.管理者の役割	4
3-1.運用ポリシーの決定	5
3-1-1.デバイスをどのようにグループ分けするか？	5
3-1-2.誰がどのデバイスグループを管理するか？	6
3-1-3.どのような条件でアラートを送信するか？	6
3-1-4.ログの保存期間(ビジネスプランのみ)	7
3-2.デバイスグループとユーザーの登録.....	8
3-3.ユーザーからの問い合わせ対応	12
4.画面操作説明	13
4-1.MRL-IDM へのログイン	14
4-2.ユーザーアカウント管理(管理者のみ操作可能)	15
4-2-1.新規登録.....	16
4-2-2.編集	17
4-2-3.削除	18
4-3.デバイスグループ管理(管理者のみ操作可能).....	19
4-3-1.新規登録.....	20
4-3-2.編集	21
4-3-3.削除	22
4-4. デバイス管理(管理者・ユーザーが操作可能).....	23
4-4-1.新規登録.....	25
4-4-2.編集	27
4-4-3.削除	29
4-5. デバイス監視(管理者・ユーザーが操作可能).....	30
4-6.ファームウェア更新(管理者・ユーザーが操作可能).....	31
4-6-1.新規登録.....	33
4-6-2.編集	34
4-6-3.削除	35
4-7.死活監視アラート条件設定(管理者・ユーザーが操作可能)	36
4-7-1.新規登録.....	38
4-7-2.編集	40
4-7-3.削除	41
4-8.ステータスアラート条件設定(管理者・ユーザーが操作可能)	42
4-8-1.新規登録.....	46
4-8-2.編集	48

4-8-3.削除	49
4-9.HTTP 監視 URL 設定(管理者・ユーザーが操作可能).....	50
4-9-1.新規登録.....	51
4-9-2.編集	52
4-9-3.削除	53
4-10.ステータスメールログ設定(管理者・ユーザーが操作可能).....	54
4-10-1.新規登録	55
4-10-2.編集	56
4-10-3.削除.....	57
4-11.アラート通知先設定(管理者・ユーザーが操作可能)	58
4-11-1.新規登録	59
4-11-2.編集	60
4-11-3.削除.....	61
4-12.ログ保存期間設定(管理者のみ操作可能)	62
4-12-1.編集.....	63
4-13.死活監視アラートログ(管理者・ユーザーが操作可能).....	64
4-13-1.詳細.....	66
4-14.ステータスアラートログ(管理者・ユーザーが操作可能).....	67
4-14-1.詳細.....	69
4-15. HTTP 監視ログ(管理者・ユーザーが操作可能).....	70
4-16.ステータスメールログ(管理者・ユーザーが操作可能).....	72
4-16-1.詳細.....	74
4-17.デバイスオペレーションログ(管理者・ユーザーが操作可能).....	75
4-17-1.詳細.....	77
5.MRL-IDM に関するお問い合わせ	78

1.MRL-IDM とは？

「MRL-IDM」は、MR-GMx シリーズのデバイス（以下**デバイス**という表記だけの場合は、**MR-GMx シリーズのデバイス**のことを指します。また、今後、他のマイクロリサーチ社製デバイスも随時追加予定ですので、あえて**デバイス**と表記することもあります。）をクラウドで一元的に管理し、デバイスの死活監視、ステータス監視、ファームウェアの自動更新を可能にするためのシステムです。

本システムは、WEB システムとして、下記の機能を提供します。

●ユーザーアカウント管理

企業内の管理者、ユーザーを登録・変更・削除する機能。

●デバイスグループ管理

デバイスをグルーピングして管理する機能。

●デバイス管理

デバイスの個々の機体を登録し、管理する機能。

●デバイス監視

デバイスからの HTTP 通信による回線監視機能、あるいはメール送信機能により、状態を監視する機能。

●死活監視アラート条件設定

デバイスグループ毎に、どういう間隔で死活監視を行い、どこにアラートを通知するかを設定する機能。

●ステータスアラート条件設定

デバイスグループ毎に、デバイスから送られてくるステータスメールを解析し、デバイスの状態からアラートを通知するための条件を設定する機能。

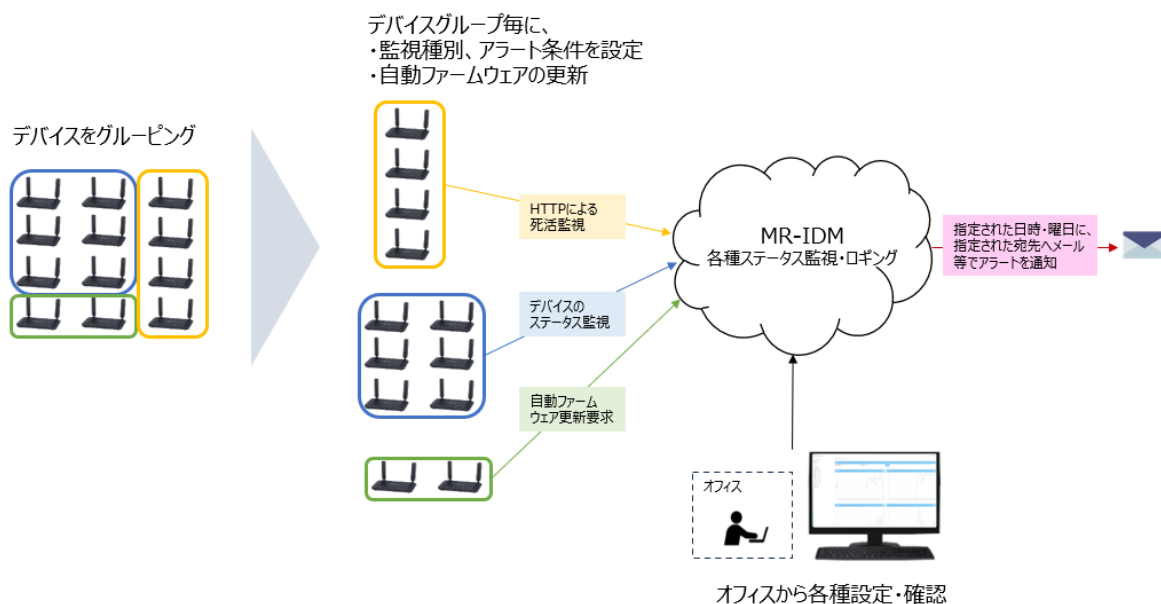
●ログ管理

各種ログ（死活監視アラートログ、ステータスアラートログ、HTTP 監視ログ、ステータスメールログ、デバイスオペレーションログ）を保持し、過去の履歴を辿れる機能。

●ファームウェア更新

デバイスグループ毎（機種毎）に、ファームウェアダウンロード用 URL を設定し、ファームウェアバージョンを適用。自動ファームウェアバージョンアップを行う機能。

全体概要は下図のようになります。



また、本システムをご利用の際は、デバイス本体側で以下の設定を行って下さい。

・**デバイスの死活監視を行う場合**

→HTTP 回線監視の設定で、MRL-IDM 用の監視 URL を追加して下さい。

・**メール送信機能、タイマー自動ファームウェア更新機能を使用する場合**

→NTP クライアント機能の設定を行って下さい。

・**デバイスのステータス監視を行う場合**

→メール送信設定で、メール送信の宛先に MRL-IDM 用のメールアドレスを設定して下さい。

・**自動ファームウェア更新を行う場合**

→ファームウェアダウンロード URL にデバイスグループに設定した FW 更新 URL を設定して下さい。

・**リモート設定を行う場合**

→WAN 側からの設定を許可する設定をして下さい。

デバイス側の設定については、別冊の「マイクロリサーチ IoT デバイス管理サービス_ユーザー向け運用マニュアル」をご確認下さい。

2. MRL-IDM における管理者・ユーザーの役割

運用面における、本システムの管理者・ユーザーの役割は以下に分類できます。

管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内のユーザー管理者 MRL-IDM を利用してデバイス管理を行う管理者ユーザー ・ルール: 企業に1人。ユーザーからの昇格は不可 管理者の情報(名前、メールアドレス)は変更可能 ・ユーザーとともに、自社内のデバイスの運用管理のポリシーを決定 <ul style="list-style-type: none"> - デバイスのグルーピング - 担当ユーザーとデバイスグループの紐づけ - 監視・アラートなど運用ポリシー ・ユーザーのサポート
ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ・一般ユーザー MRL-IDM を利用してデバイス管理を行う ・管理者とともに、自社内のデバイスの運用管理のポリシーを決定 ・デバイスのキッティング、登録、運用 ・アラート運用(ログ確認など状態監視) ・新しいファームウェアの適用

また、「管理者」でログインした場合と、「ユーザー」でログインした場合で表示されるメニュー項目が異なります。



管理者とユーザーを明確に分けていない場合、管理者が行う運用とユーザーが行う運用が重なります。

本マニュアルでは、管理者の方がこのシステムを運用するにあたって、どのようなシナリオケースがあるか、またどのように設定するのかなどを中心に記載していきます。

また、「4.画面操作説明」で各画面についての説明もごさいますのでそちらで詳細をご確認下さい。

3.管理者の役割

管理者がこのシステム運用する際の役割として以下が考えられます。

- 事前の運用ポリシーの決定
- デバイスグループとデバイスの登録&ユーザーの登録
- ユーザーからの問い合わせ対応

主に「ユーザーアカウント管理」「デバイスグループ管理」を利用することになりますが、「ユーザーからの問い合わせ」があることも考えられますので、管理者が運用的に使うメニュー以外のことも把握しておく必要があります。

それらはユーザー向け運用マニュアルに記載しておりますのでご参照下さい。

どのように運用しているかが把握できるものとなっております。

では、それぞれのケースについて見ていきましょう。

3-1.運用ポリシーの決定

利用を開始する前に、社内で運用ポリシーを決めておくことで、スムーズに導入が行えます。

- ①デバイスをどのようにグループ分けするか？
- ②誰がどのグループを管理するか？
- ③死活監視、ステータス監視で、どのような条件でアラートを送信するか？
- ④各ログの保存期間

どのようにグループを分けるか。そのグループをどのユーザーが管理するのか。
まず、これらを MRL-IDM 上で設定していくことになります。

3-1-1.デバイスをどのようにグループ分けするか？

設置施設単位？

設置地域エリア単位？

担当者が管理する施設単位？



御社の運用に一番あったグルーピングをしましょう。

今後社内での運用に一番あったグルーピングを考えましょう。

- ・死活監視アラート条件の設定
- ・ステータスアラート条件の設定
- ・自動ファームウェア更新で適用するファームウェアバージョン

上記は、このデバイスグループ単位での設定になります。

また、グルーピングには、「3-1-2.誰がどのデバイスグループを管理するか？」も関係しますので、合わせてお考え下さい。

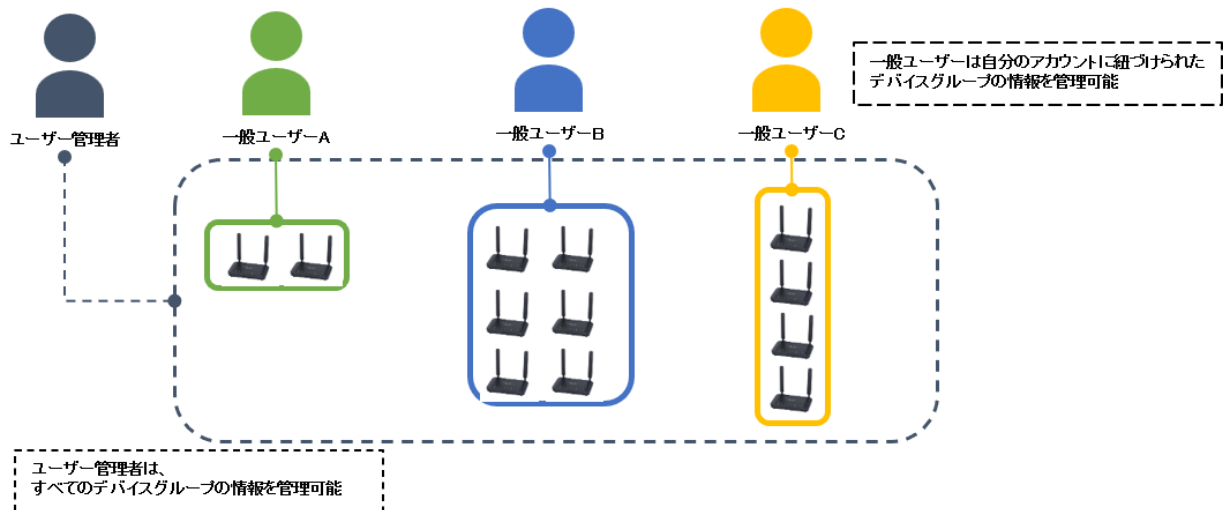
台数が小規模で全てのデバイスを1つのチームで全部管理する、という方針の場合は1グループでのご利用も可能です。
1グループであっても、デバイスグループの登録は必ず行って下さい。

確認

一つのデバイスグループに異なる機種を登録する事はできません。
デバイスグループは、機種ごと(MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズ、MR-GM5A シリーズ、MR-GM5L シリーズ)で分けて登録下さい。

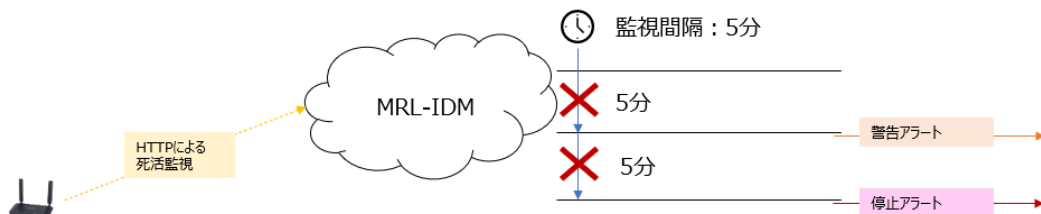
3-1-2.誰がどのデバイスグループを管理するか？

管理者は、すべての情報にアクセスし、管理・設定が行えます。
ユーザーは、自身に割り振られた「デバイスグループ」に関する情報へのみアクセス、管理・設定が行えます。
誰がどのデバイスグループを運用していくのか(複数管理者が1グループを管理も可)を決めて下さい。

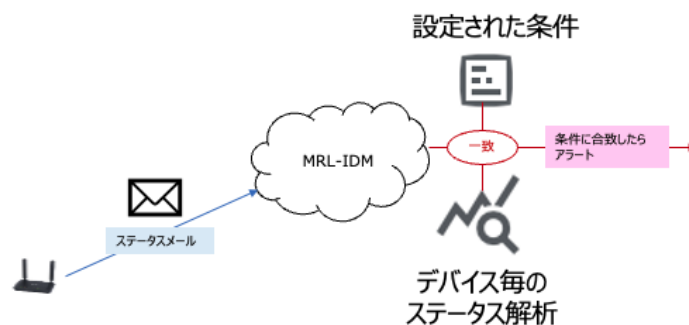


3-1-3.どのような条件でアラートを送信するか？

死活監視では、指定された「監視間隔」で監視を行い、監視間隔時間デバイスから通信がなかったら「警告」と判定して、警告アラートを送信します。
監視間隔時間の2倍の時間、デバイスからの通信がなかったら「停止」と判定して、停止アラートを送信します。



また、ステータス監視では、デバイスから送られてくるステータスメールの情報をもとに、どの項目がどうなったらアラートを送信するか条件設定と、ステータス解析結果が合致したらアラートを送信します。



また、MRL-IDM 上では、アラートの条件は、デバイスグループ単位で設定する機能となります。
こちらもグループ分けの1つの指標として考慮しておきましょう。

デバイスから送信されるステータスの例:

- ・メールの送信トリガー(回線接続やシステムの再起動)
- ・アンテナ(SQ)
- ・受信信号強度(RSSI)

3-1-4.ログの保存期間(ビジネスプランのみ)

以下の各ログの保存期間を決めて下さい。

- ・**死活監視アラートログ**
→死活監視のアラート通知の履歴
- ・**ステータスアラートログ**
→ステータスのアラート通知の履歴
- ・**HTTP監視ログ**
→HTTP通信の受信履歴
- ・**ステータスメールログ**
→ステータスメールの受信履歴
- ・**デバイスオペレーションログ**
→リモート設定の操作履歴(MR-GM3シリーズのみ)

これらのログの保存期間は、スタンダードプランは7日間固定、ビジネスプランは14日間～180日間の範囲で設定可能です。
ビジネスプランの初期値は「14日間」で設定されています。
ログ保存期間の設定方法については「4-12.ログ保存期間設定」を参照して下さい。

以上見てきました4つの要素(デバイスグループ、担当者、アラート設定、ログの保存期間)を考慮し、運用ポリシーを検討して下さい。

3-2. デバイスグループとユーザーの登録

ここでは、

- ① 管理者が、デバイスグループとユーザーを登録し、ユーザーとデバイスグループの紐づけを行う
- ② ユーザーが、自分の担当するデバイスグループに、デバイスを登録する
- ③ ユーザーへの通知

というフローを想定して、ご説明します。

- ① 最初にデバイスグループの登録を行います。

MRL-IDM にログインして下さい。

<https://mrlidm.jp/>

上記 URL にアクセスするとログイン画面が開きます。



ログイン

ID

パスワード

ログイン

マイクロリサーチより通知された、管理者のログイン情報に記載されている ID、パスワードでログインして下さい。

ログインしたら、「デバイスグループ管理」メニューをクリックして下さい。



MICRO RESEARCH

デバイス監視

デバイスグループ管理

デバイスグループ管理

新規登録

デバイスグループ	デバイス台数	グループ内のデバイスシリーズ	操作
01:南関東グループ	1台 詳細	MR-GN3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)	編集
02:南関東グループ	1台 詳細	MR-GM5L series (MR-GM5L)	編集
03:北関東グループ	1台 詳細	MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)	編集

3件中1～3件表示

← 1 →

② 新規登録

「新規登録」ボタン(②)をクリックすると、新規登録画面が開きます。

デバイスグループ 新規登録

デバイスグループ

必須

デバイスシリーズ

必須

どのデバイスシリーズの機種をこのグループに
まとめるかを選択してください。
他のシリーズとの混在はできません。

登録

閉じる

デバイスグループの名称を入力して、このデバイスグループに登録するデバイスのシリーズを選択して、「登録」ボタンをクリックして下さい。

デバイスグループ一覧に戻ると、登録したデバイスグループが表示されます。

<div data-bbox="220 972 279 974" data-label="Image"></div>	<p>一つのデバイスグループに異なる機種を登録する事はできません。 デバイスグループは、機種ごと(MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズ、MR-GM5A シリーズ、MR-GM5L シリーズ)で分けて登録下さい。</p>
--	---

②次に、ユーザーの登録とデバイスグループの紐づけを行います。

ユーザーの登録は、「ユーザーアカウント管理」メニューから行います。

最初に開いた時は、現在ログインしている管理者のアカウントのみが表示されます。

「ユーザーアカウント管理」メニューをクリックして、「新規登録」ボタン(②)をクリックして下さい。

[illegible]

アカウント新規登録画面が開きます。

アカウント 新規登録

ID 自動発行

担当者名 必須

メール 必須

デバイスグループ 未選択です

アカウント状態 有効

登録 閉じる

ID は、本システムから自動発行されます。(変更不可)

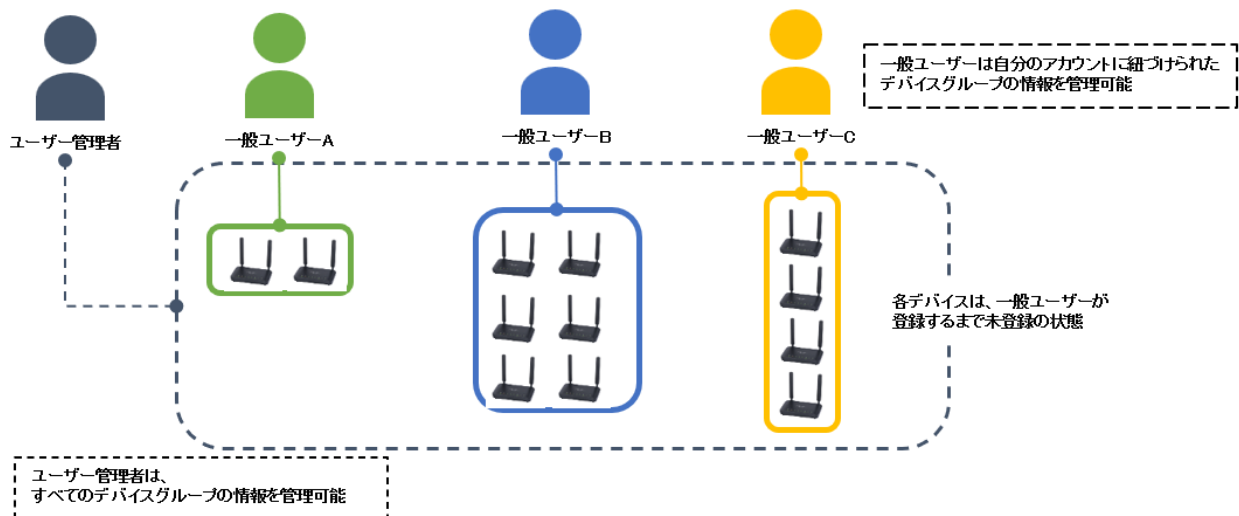
命名ルールは、お客様の企業コード(英数4文字)＋ランダムな英数字となります。

担当者名とメールアドレスを入力して、登録するユーザーが管理するデバイスグループを選択します。

「登録」ボタンをクリックして下さい。

アカウント一覧に戻り、登録したアカウントを確認して下さい。

これで、下図のように、各ユーザーと、そのユーザーが管理するデバイスグループがセットされた状態になります。



③ ユーザーへの通知

アカウント情報を登録したらログインするためのアカウント情報を、ユーザーに通知して下さい。

ログインするためのアカウント情報は、編集画面から確認することができます。



アカウント一覧で、ユーザーの「編集」ボタンをクリックして下さい。

ログインに必要な情報は、ここに表示される「ID」と「パスワード」になります。

The screenshot shows the 'アカウント 編集' (Edit Account) form. The form fields are as follows:

- ID: 0TNRQ24030001
- 担当者名 (必須): 田中 次郎
- メール (必須): jiro.tanaka@network.net
- デバイスグループ: 02グループ
- パスワード (必須): #2sXh%pFRdVv6
- アカウント状態: 有効

登録日: 2024/03/20 10:49:58
更新日: 2024/03/20 10:49:58

Buttons: 保存, 閉じる

Callout box text: 該当ユーザーの「編集」ボタンをおすと、そのユーザーのパスワードが表示されます。ログインに必要なのは、ここに表示される、「ID」と「パスワード」になります。これらの情報を、一般ユーザに伝えてあげてください。

ID/パスワードの情報を、ユーザーに通知して下さい。

※各ユーザーは自身でパスワードを変更できませんので、そのような問い合わせが管理者に来ることが想定されます。

3-3.ユーザーからの問い合わせ対応

管理者がユーザーからの問い合わせに応じて、確認することがあると思われる機能は、

- ユーザーアカウント管理:パスワードがわからなくなった。
- デバイスグループ管理:デバイスグループ名を変更してほしいなど。
- デバイス管理:デバイスが見つからない。
- デバイス監視
- WEB 通信
- ファームウェア更新
- グラフ表示
- 監視・アラート管理
- ログ管理

が想定されます。



ユーザーアカウントでログインした場合のメニュー
※「サジェスト」はビジネスプランでのみ表示されます。

管理者アカウントでログインした時と、メニューが異なります。

また、ユーザーは自身に紐づけられたデバイスグループ配下のデバイスに関する情報以外は見る事はできません。

この点に注意して、ご対応下さい。

ご不明な点がございましたら、マイクロリサーチのユーザーサポートセンターへお問い合わせ下さい。

4.画面操作説明

MRL-IDM が提供する、各メニューについて説明します。
管理者がログインした時のメニュー表示です。
各メニューの操作について説明していきます。



※「サジェスト」はビジネスプランでのみ表示されます。

4-1.MRL-IDM へのログイン

<https://mrlidm.jp/>

上記 URL にアクセスして下さい。ログイン画面が開きます。



The image shows a login form titled "ログイン" (Login). It contains two input fields: "ID" and "パスワード" (Password). Below these fields is a blue button labeled "ログイン" (Login).

マイクロリサーチより通知された、管理者のログイン情報に記載されている ID、パスワードでログインして下さい。

4-2.ユーザーアカウント管理(管理者のみ操作可能)

「ユーザーアカウント管理」画面について説明します。
自社のアカウント一覧が表示され、管理・操作する事ができます。

ユーザーアカウント管理

新規登録

アカウント一覧 2件

10

行ごとに表示

フィルター検索:

状態	ID	担当者名	メール	デバイスグループ	操作
有効	0TNK23110001	田中 太郎	taro.tanaka@network.net	01グループ	編集
有効	0TNK24030002	田中 次郎	jiro.tanaka@network.net	02グループ	編集 削除

2件中 1 ~ 2 件目 表示

← 前

1

次 →

新規登録

画面の説明	
状態	現在のアカウントの状態を表示されます。 編集画面で有効・無効を切り替える事ができます。
ID	ユーザーのログイン ID を表示されます。 ログイン ID は自動発行であり、編集する事はできません。
担当者名	ユーザーの名前を表示されます。
メール	担当者のメールアドレスを表示されます。
デバイスグループ	担当者に紐づけされたデバイスグループを表示されます。 担当者はここで表示されるデバイスグループを管理・操作可能です。
フィルター検索:	ユーザー名、ID、担当者名、メールアドレス、デバイスグループ等、一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みが可能です。
編集	編集画面が開きます。
削除	削除画面が開きます。 管理者は削除する事はできません。
新規登録	ユーザーの新規登録画面が開きます。

4-2-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

アカウント 新規登録

ID 自動発行

担当者名 必須

メール 必須

デバイスグループ 未選択です

アカウント状態 有効

登録 閉じる

ID	ログイン ID は自動発行です。
担当者名	担当者名を入力して下さい。
メール	担当者のメールアドレスを入力して下さい。
デバイスグループ	この担当者が管理するデバイスグループを指定して下さい。 複数選択可能です。
アカウント状態	有効/無効を選択します。

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

アカウント一覧に、登録したユーザーの情報が表示されている事を確認して下さい。

	ログインパスワードは自動発行されます。登録後、編集で開いて確認して下さい。
--	---------------------------------------

4-2-2.編集

編集するアカウントの「編集」ボタンをクリックして下さい。

×

アカウント 編集

ID

担当者名 **必須**

田中 太郎 (管理者)

メール **必須**

デバイスグループ

未選択です

パスワード **必須**

※パスワードは半角の英字と数字と記号の3種類を組み合わせで設定して下さい。
※使用できる記号は !#\$@_ となります。

アカウント状態

有効

登録日: 2023/11/24 11:18:07

更新日: 2024/07/04 16:11:29

保存

閉じる

ID	自動発行されたログイン ID です。変更する事はできません。
担当者名	担当者名を入力して下さい。
メール	担当者のメールアドレスを入力して下さい。
デバイスグループ	この担当者が管理するデバイスグループを指定して下さい。 複数選択可能です。
パスワード	ログインパスワードです。パスワードは半角の英字と数字と記号の 3 種類を組み合わせで設定して下さい。 ※使用できる記号は !#\$@_ となります。
アカウント状態	有効/無効を選択します。

「保存」ボタンをクリックして下さい。
アカウント一覧に戻ります。

4-2-3.削除



管理者アカウントは削除できません。管理者アカウントは必須となっております。

削除するアカウントの「削除」をクリックして下さい。

×

アカウント 削除

ID

担当者名

田中 次郎 (ユーザー)

メール

デバイスグループ

02:南関東グループ

パスワード

※パスワードは半角の英字と数字と記号の3種類を組み合わせて設定して下さい。
※使用できる記号は !@\$_ となります。

アカウント状態

有効

登録日: 2024/03/20 11:41:04

更新日: 2024/07/04 16:10:58

削除

閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、確認アラート画面が開きます。

mrlidm.jp の内容

このアカウントを削除しますか？

OK

キャンセル

「OK」をクリックするとアカウントが削除されます。

削除しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。

4-3.デバイスグループ管理(管理者のみ操作可能)

「デバイスグループ管理」画面について説明します。
自社のデバイスグループ一覧が表示され、管理・操作する事ができます。

確認

一つのデバイスグループに異なる機種を登録する事はできません。
デバイスグループは、機種ごと(MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズ、MR-GM5A シリーズ、MR-GM5L シリーズ)で分けて登録下さい。

デバイスグループ一覧 3件			
10 ▼	行ごとに表示	フィルター検索:	
デバイスグループ	デバイス台数	グループ内のデバイスシリーズ	操作
01:南関東グループ	1台 (詳細)	MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)	編集
02:南関東グループ	1台 (詳細)	MR-GM5L series (MR-GM5L)	編集
03:北関東グループ	1台 (詳細)	MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)	編集

3件中 1 ~ 3 件目 表示

← 前 1 次 →

[+ 新規登録](#)

画面の説明	
デバイスグループ	登録されているデバイスグループ名が表示されます。
デバイス台数	デバイスグループに登録されているデバイス台数が表示されます。 「詳細」をクリックするとデバイス管理画面へ移動し、デバイスグループに登録されたデバイスの一覧が表示されます。
グループ内のデバイスシリーズ	このデバイスグループに登録できるデバイスシリーズ(機種)が表示されます。
フィルター検索:	デバイスグループ名称の部分一致で絞り込みが可能です。
編集	編集画面が開きます。
削除	削除画面が開きます。
+ 新規登録	デバイスグループの新規登録画面が開きます。

4-3-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

デバイスグループ 新規登録

デバイスグループ **必須**

デバイスシリーズ **必須**

どのデバイスシリーズの機種をこのグループに
まとめるかを選択してください。
他のシリーズとの混在はできません。

登録 閉じる

デバイスグループ	グループ名称を入力して下さい。
デバイスシリーズ	どのデバイスシリーズの機種をこのグループにまとめるかを選択して下さい。他のシリーズとの混在はできません。

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

デバイスグループ一覧に、登録したデバイスグループの情報が表示されている事を確認して下さい。

4-3-2.編集

編集するデバイスグループの「編集」ボタンをクリックして下さい。

×

デバイスグループ 編集

デバイスグループ 必須

01:南関東グループ

デバイスシリーズ 必須

デバイスシリーズを変更することはできません。
MR-GM3 series(MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W) ▼

登録日 : 2023/11/24 11:25:58
更新日 : 2024/09/12 16:32:56

保存

閉じる

デバイスグループ	グループ名称を変更できます。
デバイスシリーズ	一度決めたシリーズは編集できません。

「保存」ボタンをクリックして下さい。デバイスグループ一覧に戻ります。

4-3-3.削除

デバイスグループは、

- a.紐づいている**デバイス**がないこと
- b.紐づいている**ユーザーアカウント**がないこと
- c.紐づいている**ファームウェア更新 URL** がないこと
- d.紐づいている**死活監視・ステータス監視**がないこと

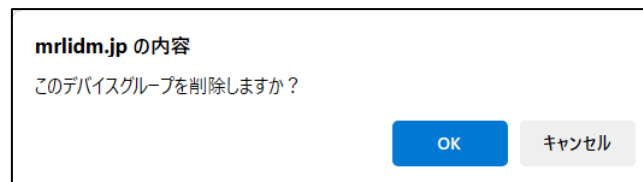
と、a～d の条件が満たされている時に限り、削除が可能です。先に a～d の各設定をご確認の上、削除するようにして下さい。

削除するデバイスグループの「削除」をクリックして下さい。



削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、確認アラート画面が開きます。



「OK」をクリックするとアカウントが削除されます。

削除しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。

4-4. デバイス管理(管理者・ユーザーが操作可能)

「デバイス管理」画面について説明します。

管理者アカウントでログインした場合、自社の全てのデバイスグループのデバイスが一覧で表示されます。

ユーザーアカウントでログインした場合、そのユーザーが管理するデバイスグループ分のみ表示されます。

検索条件部分でデバイスグループや導入時期により検索ができます。

デバイス管理

検索条件

設置場所

導入年月

アラート通知

デバイスグループ

S/N

機種

機種名称

Memo

検索

新規登録

デバイス一覧 3台/登録可能台数=20台

10 行ごとに表示

フィルター検索:

設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称	ファームウェア	導入日	IPアドレス	MACアドレス	機能	操作
海岸ビル1F	03グループ	MR-GM3-M	MR-GM3LTE1F	v1.04.02(MR001)	2024/02/02		00:10:38:	ログ アプリ WEB	編集 削除
海岸ビル2F	02グループ	MR-GM3-M	MR-GM3LTE2F	v1.04.02(MR001)	2024/03/07		00:10:38:	ログ アプリ WEB	編集 削除
海岸ビル3F	03グループ	MR-GM3-DKS	MR-GM3LTE3F	v1.04.02(MR001)	2024/03/07		00:10:38:	ログ アプリ WEB	編集 削除

3件中1～3件目表示

← 前 1 次 →

新規登録

画面の説明: 検索条件

設置場所	デバイス登録時に設定した設置場所です。
デバイスグループ	デバイスグループ名で検索します。
機種	機種名で検索します。
機器名称	デバイス登録時に設定した設置場所です。
導入年月	デバイス登録時に設定した導入年月で検索します。
S/N	デバイス登録時に設定したシリアル No で検索します。 1 台のシリアル No を検索する場合は、両方の入力欄に同じシリアル No を入力して下さい。 範囲での検索も可能ですが必ずしも連番ではございません。検索範囲に漏れている可能性もありますのでご注意下さい。
アラート通知	アラート通知の有効/無効を条件に検索します。

登録台数が多い場合、「検索条件」の各種検索を活用して検索して下さい。

登録時に、わかりやすい設置場所名、機器名称、導入年月を設定する事を推奨します。

23

画面の説明:一覧	
デバイス一覧 3台／登録可能台数=20台	現在登録されているデバイスの数と、今のプランで登録可能なデバイスの登録可能台数が表示されています。
フィルター検索: <input type="text"/>	一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかける事ができます。
設置場所	デバイス登録時に設定した設置場所が表示されます。
デバイスグループ	デバイスが登録されているデバイスグループが表示されます。
機種	デバイスの機種名が表示されます。 MRL-IDM がデバイスからステータスメールを受信していない場合、空欄になります。
機器名称	デバイス登録時に設定した機器名称が表示されます。
ファームウェア	デバイスのファームウェアバージョンが表示されます。 MRL-IDM がデバイスからステータスメールを受信していない場合、空欄になります。
導入日	デバイス登録時に設定した導入日が表示されます。
IP アドレス	デバイスのWAN側IPアドレスが表示されます。 MRL-IDM がデバイスからステータスメールを受信していない場合、空欄になります。
MAC アドレス	デバイス登録時に設定した MAC アドレスが表示されます。
ログ	デバイスのデバイスオペレーションログ画面に遷移します。
グラフ	デバイスのグラフ画面に遷移します。
WEB	デバイスのリモート設定が可能になっている場合、WEB 通信でデバイスの設定画面を操作できます。 操作・設定内容については、MR-GMx シリーズのユーザーマニュアルをご参照下さい。
編集	デバイス管理の編集画面が開きます。
削除	デバイスの削除画面が開きます。 デバイスを削除した場合、ログも同時に削除されますのでご注意ください。
+ 新規登録	デバイスの新規登録画面が開きます。

<div> <div></div> <div>確認</div> </div>	<p>リモートでデバイスの設定画面にアクセスするためには、以下の条件が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの WAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスである事。 ・デバイス側で「WAN 側からの設定画面へのアクセスを許可する設定」がされている事。 <p>デバイス側の設定方法については、MR-GMx シリーズのユーザーズマニュアルを参照して下さい。</p>
--	---

4-4-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

デバイス 新規登録

設置場所

機器名称 必須

MACアドレス 必須

デバイスグループ 必須

アラート通知 必須

有効

S/N

導入日

IPアドレス

WEBポート

WEBログインID

WEBパスワード

Memo

登録

閉じる

設置場所	設置場所を入力して下さい。
機器名称	デバイスの名称を入力して下さい。 デバイスの判別がつくように個別の設定値にする事を推奨します。
MAC アドレス	デバイスの LAN ポート MAC アドレスを入力して下さい。 デバイスの LAN ポート MAC アドレスは、底面のシールや設定画面で確認する事ができます。 「MAC:001038xxxxxx」の「001038xxxxxx」を入力して下さい。 MRL-IDM はデバイスを MAC アドレスで判別します。MAC アドレスが正しく設定されていないと MRL-IDM を利用する事はできませんのでご注意ください。
デバイスグループ	このデバイスが所属するデバイスグループを選択して下さい。
アラート通知	死活監視アラート通知、ステータスアラート通知の有効・無効を設定します。 無効の場合、アラートチェック、ログ表示を行いません。
S/N	デバイスのシリアル No を入力して下さい。 デバイスの底面に貼られているシールの「S/N:GMxxxxxxxxxx」の GMxxxxxxxxxx を入力して下さい。
導入日	導入設置日を選択して下さい。
IP アドレス	デバイスの WAN 側 IP アドレスを入力して下さい。 リモート設定を行う場合、ここで設定した IP アドレスへアクセスします。 空欄にした場合、ステータスメールで取得したIPアドレスへアクセスします。

WEB ポート	デバイスの WEB 設定ポート番号を入力して下さい。 デバイス側で WEB 設定ポート番号を変更している場合は、変更したポート番号を入力して下さい。
WEB ログイン ID	デバイスの設定画面にログインするためのログイン ID を保存する場合、入力して下さい。 空欄にした場合、ログインIDの入力を求められます。 (MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズのみ保存可能です)
WEB パスワード	デバイスの設定画面にログインするためのパスワードを保存する場合、入力して下さい。 空欄にした場合、パスワードの入力を求められます。 (MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズのみ保存可能です)
Memo	デバイスに関するメモを入力できます。

<div>確認</div>	<p>リモートでデバイスの設定画面にアクセスするためには、以下の条件が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの WAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスである事。 ・デバイス側で「WAN 側からの設定画面へのアクセスを許可する設定」がされている事。 <p>デバイス側の設定方法については、MR-GMx シリーズのユーザーズマニュアルを参照して下さい。</p>
---------------	---

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

デバイス一覧に、登録したデバイスの情報が表示されていることを確認して下さい。

現在のプランでのデバイス登録可能台数に達している場合、「新規登録」ボタンをクリックすると下記エラーメッセージが表示されます。

この場合、未使用のデバイスを削除するか、プランを変更してから新規登録して下さい。

すでに登録台数に達しています。デバイスを削除してから登録するか、プランを変更してください。

OK

4-4-2.編集

編集するデバイスの「編集」ボタンをクリックして下さい。

デバイス 編集

設置場所

海岸ビル1F

機器名称 必須

MR-GM3LTE1F

MACアドレス 必須

00:10:38:

デバイスグループ 必須

03グループ ▾

アラート通知 必須

有効 ▾

機種

MR-GM3-M

S/N

GM3

導入日

2024/02/02

IPアドレス

WEBポート

80

WEBログインID

WEBパスワード

Memo

デジタルサイネージ用

登録日: 2024/02/02 17:22:53

更新日: 2024/04/26 20:31:45

保存

閉じる

設置場所	設置場所を入力して下さい。
機器名称	デバイス機器の名称を入力して下さい。
MAC アドレス	デバイスの LAN ポート MAC アドレスを入力して下さい。 デバイスの LAN ポート MAC アドレスは、底面のシールや設定画面で確認する事ができます。 「MAC:001038xxxxxx」の「001038xxxxxx」を入力して下さい。 MRL-IDM はデバイスを MAC アドレスで判別します。 MAC アドレスが正しく設定されていないと MRL-IDM を利用する事はできませんのでご注意ください。
デバイスグループ	このデバイスが所属するデバイスグループを選択して下さい。
アラート通知	死活監視アラート通知、ステータスアラート通知の有効・無効を設定します。 無効の場合、アラートチェック、ログ表示を行いません。
機種	デバイスからのメールを受信するとメール情報から取得して自動で機種が表示されます。 (自動判定入力)
S/N	デバイスのシリアル No を入力して下さい。 デバイスの底面に貼られているシールの「S/N: GMxxxxxxxxxx」の GMxxxxxxxxxx を入力して下さい。
導入日	導入設置日を選択して下さい。
IP アドレス	デバイスの WAN 側 IP アドレスを入力して下さい。 リモート設定を行う場合、ここで設定した IP アドレスへアクセスします。 空欄にした場合、ステータスメールで取得したIPアドレスへアクセスします。

WEB ポート	デバイスの WEB 設定ポート番号を入力して下さい。 デバイス側で WEB 設定ポート番号を変更している場合は、変更したポート番号を入力して下さい。
WEB ログイン ID	デバイスの設定画面にログインするためのログイン ID を保存する場合、入力して下さい。 空欄にした場合、ログインIDの入力を求められます。 (MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズのみ保存可能です)
WEB パスワード	デバイスの設定画面にログインするためのパスワードを保存する場合、入力して下さい。 空欄にした場合、パスワードの入力を求められます。 (MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズのみ保存可能です)
Memo	デバイスに関するメモを入力できます。

<div> <div></div> <div>確認</div> </div>	<p>リモートでデバイスの設定画面にアクセスするためには、以下の条件が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの WAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスである事。 ・デバイス側で「WAN 側からの設定画面へのアクセスを許可する設定」がされている事。 <p>デバイス側の設定方法については、MR-GMx シリーズのユーザズマニュアルを参照して下さい。</p>
--	--

「保存」ボタンをクリックして下さい。デバイス一覧に戻ります。

4-4-3.削除



デバイスを削除した場合、削除したデバイスのログも同時に削除されますのでご注意ください。

削除するデバイスの「削除」をクリックして下さい。

デバイス 削除

設置場所

海岸ビル1F

機器名称

MR-GM3LTE1F

MACアドレス

00:10:38:

デバイスグループ

01グループ

アラート通知

有効

機種

MR-GM3-M

S/N

GM3

導入日

2024/02/02

IPアドレス

WEBポート

80

WEBログインID

WEBパスワード

Memo

登録日 : 2024/02/02 17:22:53

更新日 : 2024/04/28 11:19:09

削除

閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、確認アラート画面が開きます。

このデバイスを削除しますか？

OK

キャンセル

「OK」をクリックするとデバイスが削除されます。

削除しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。

4-5. デバイス監視(管理者・ユーザーが操作可能)

「デバイス監視」画面について説明します。

管理者アカウントでログインすると、自社の全てのデバイスが表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、そのユーザーが管理するデバイスグループのデバイスのみが表示されます。

デバイスの稼働状況「稼働」「警告」「停止」が表示され、そのデバイスの「ログ」、「グラフ」、「WEB」(リモート設定)画面に遷移することができます。

デバイス監視

Check Me!

・監視・アラート管理で、HTTP監視用URLが監視に紐づいていないようです。「HTTP監視用URL設定」をご確認ください。

デバイス一覧 3件

(ここに表示されていないデバイスは、まだ死活監視の設定がされていません。死活監視設定をしてください。)

10 行ごとに表示

フィルター検索:

状態	受信種別	日時	設置場所	機種	機器名称	IPアドレス	MACアドレス	詳細
稼働		2024/05/16 11:22:06	海岸ビル1F	MR-GM3-M	MR-GM3LTE1F		00:10:38:	ログ グラフ WEB
停止		2024/03/08 14:12:21	海岸ビル2F	MR-GM3-M	MR-GM3LTE2F		00:10:38:	ログ グラフ WEB
稼働		2024/05/16 11:12:06	海岸ビル3F	MR-GM3-D KS	MR-GM3LTE3F		00:10:38:	ログ グラフ WEB

3件中 1 ~ 3 件目 表示

← 前

1

次 →

画面の説明							
サジェスト (ビジネスプランのみ)	MRL-IDM の設定について矛盾した設定等を検知した場合、メッセージを表示します。						
フィルター検索	状態、日時、設置場所、機種、機器名称、IP アドレス、MAC アドレスなど一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかける事ができます。						
状態	<div>デバイスの稼働状態を表示します。</div> <table> <tr> <td>稼働</td><td>デバイスからの死活監視通信を監視間隔で設定した通りに受信している状態です。</td></tr> <tr> <td>警告</td><td>デバイスからの死活監視通信を 1 回受信できていない状態です。</td></tr> <tr> <td>停止</td><td>デバイスからの死活監視通信を 2 回連続で受信できていない状態です。</td></tr> </table>	稼働	デバイスからの死活監視通信を監視間隔で設定した通りに受信している状態です。	警告	デバイスからの死活監視通信を 1 回受信できていない状態です。	停止	デバイスからの死活監視通信を 2 回連続で受信できていない状態です。
稼働	デバイスからの死活監視通信を監視間隔で設定した通りに受信している状態です。						
警告	デバイスからの死活監視通信を 1 回受信できていない状態です。						
停止	デバイスからの死活監視通信を 2 回連続で受信できていない状態です。						
受信種別	<div>死活監視の受信種別を表示します。</div> <table> <tr> <td></td><td>HTTP 通信での死活監視時に表示されます。</td></tr> <tr> <td></td><td>メールでの死活監視時に表示されます。</td></tr> </table>		HTTP 通信での死活監視時に表示されます。		メールでの死活監視時に表示されます。		
	HTTP 通信での死活監視時に表示されます。						
	メールでの死活監視時に表示されます。						
日時	HTTP 通信での死活監視時は、HTTP 通信を受信した最新の日時が表示されます。 メールでの死活監視時は、ステータスメールログの最新の登録日時が表示されます。						
設置場所	デバイス登録時に設定した設置場所が表示されます。						
機種	デバイスの機種名が表示されます。 MRL-IDM がデバイスからステータスメールを受信していない場合、空欄になります。						
機器名称	デバイス登録時に設定した機器名称が表示されます。						
IP アドレス	HTTP 通信での死活監視時は、HTTP 通信の送信元 IP アドレスが表示されます。 メールでの死活監視時は、ステータスメールログの WAN 側 IP アドレスが表示されます。						
MAC アドレス	デバイス登録時に設定した MAC アドレスが表示されます。						
ログ	ステータスメールログ画面に遷移します。						
グラフ	デバイスステータスグラフ画面に遷移します。						
WEB	デバイスのリモート設定が可能になっている場合、WEB 通信でデバイスの設定画面を操作できます。 操作・設定内容については、MR-GMx シリーズのユーザーマニュアルをご参照下さい。						

4-6.ファームウェア更新(管理者・ユーザーが操作可能)

「ファームウェア更新」画面について説明します。

管理者アカウントでログインすると、自社内で登録された FW 更新 URL が全て表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、そのユーザーが管理するバイスグループの FW 更新用 URL が一覧で表示されます。

ファームウェア更新

新規登録

FW更新URL一覧 2件

10 行ごとに表示

フィルター検索:

デバイスシリーズ(FW対応機種)	デバイスグループ	FWバージョン名	URL	URLコピー	状態	操作
MR-GM5L series (MR-GM5L)	02:南関東グループ	v2. (MR001)	https://		有効	編集 削除
MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)	01:南関東グループ	v1.	http://		有効	編集 削除

2件中 1 ~ 2 件目 表示

← 前

1

次 →

新規登録

画面の説明：一覧

フィルター検索:	FW 機種、デバイスグループ、FW バージョン名、URL、状態など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかける事ができます。
デバイスシリーズ(FW 対応機種)	ファームウェアの対象機種名を表示します。
デバイスグループ	URL に紐づくデバイスグループ名を表示します。
FW バージョン名	URL に適用されているファームウェアバージョンを表示します。
URL	F/W 更新 URL を表示します。 この URL をデバイス側「自動ファームウェア更新」設定の「ファームウェアダウンロード URL」に設定して下さい。
	URL をクリップボードにコピーします。
編集	編集画面が開きます。
削除	削除画面が開きます。
+ 新規登録	新規登録画面が開きます。

利用可能なファームウェア情報が、MRL-IDM で公開されます。

本画面で作成した URL を、あらかじめデバイス側の「ファームウェア更新」設定の「ファームウェアダウンロード URL」に設定しておくことで、指定されたバージョンのファームウェアに更新する事が可能です。

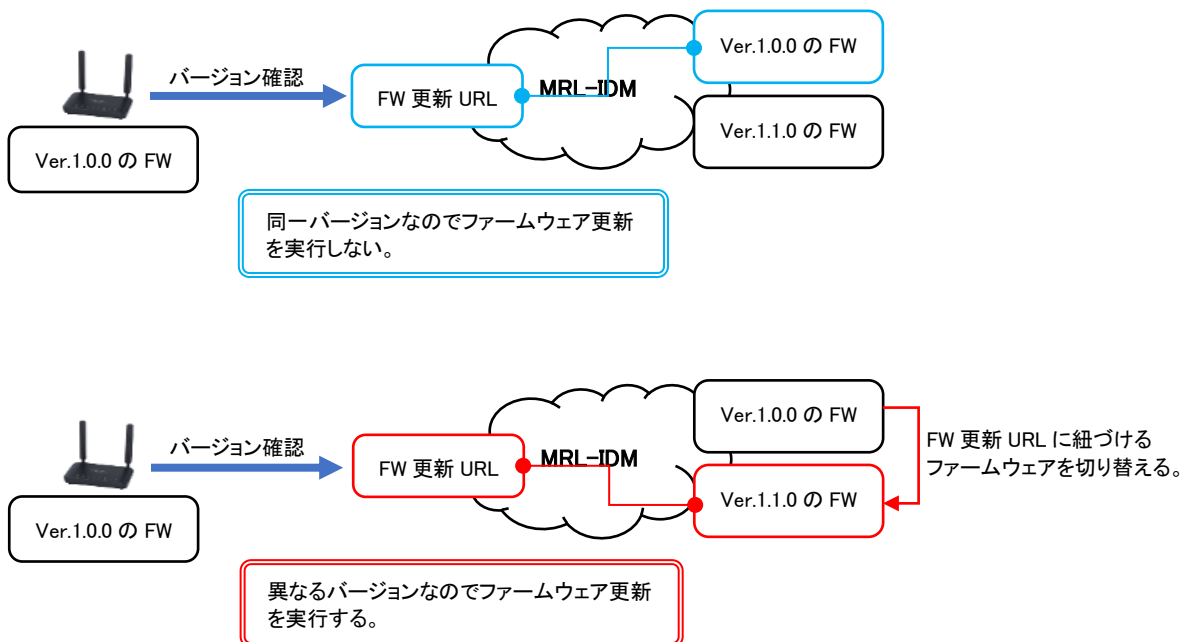


**MRL-IDM のファームウェア管理でバージョンを指定するだけではファームウェアは更新されません。
必ずデバイス側「自動ファームウェア更新」設定の「ファームウェアダウンロード URL」に、あらかじめ MRL-IDM で発行した URL を登録しておいて下さい。**



対象機種を間違えるとファームウェア更新に失敗し修理が必要となる場合がありますのでご注意ください。

MRL-IDM では、FW(ファームウェア)更新 URL に紐づけるファームウェアのバージョンを指定する、という運用方法になります。



4-6-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

×

ファームウェア更新URL 新規登録

デバイスシリーズ(FW対応機種) 必須

デバイスグループ 必須

未選択です

FWバージョン名 必須

送信プロトコル 必須

URL

自動発行

状態 必須

有効

登録

閉じる

デバイスシリーズ(FW 対応機種)	対象となるファームウェアを適用する機種グループを選択して下さい。
デバイスグループ	このファームウェア更新 URL を適用するデバイスグループを選択して下さい。
FW バージョン名	マイクロリサーチから通知されたバージョン名を選択して下さい。 次回バージョンアップ時にここで選択したファームウェアが適用されるようになります。
URL	自動発行されます。 この URL をデバイス側「自動ファームウェア更新」設定の「ファームウェアダウンロード URL」に設定して下さい。
状態	有効/無効が選択できます。 無効にすると、この URL を参照しているデバイスは自動バージョンアップが実行されなくなります。



対象機種を間違えるとファームウェア更新に失敗し、修理が必要となる場合がありますのでご注意ください。

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

FW 更新 URL 一覧に、登録した FW 更新 URL の情報が表示されていることを確認して下さい。

4-6-2.編集

FW 更新 URL に紐づくファームウェアのバージョンを変更する場合や、デバイスグループを変更する場合、ファームウェア更新 URL 編集操作を行って下さい。

編集する FW 更新 URL の「編集」ボタンをクリックして下さい。

×

ファームウェア更新URL 編集

デバイスシリーズ(FW対応機種) 必須

MR-GM5L :[MR-GM5L]

デバイスグループ 必須

02:南関東グループ

FWバージョン名 必須

v2. (MR001)

送信プロトコル 必須

HTTPS

URL

https://

状態 必須

有効

更新日:

保存

閉じる

デバイスシリーズ(FW対応機種)	編集不可です。
デバイスグループ	ファームウェアを適用するデバイスグループを変更できます。
FW 機種	編集不可です。
FW バージョン名	ここで選択したファームウェアバージョンが適用されます。
URL	編集不可です。 デバイス側の「ファームウェアダウンロード URL」に、この URL が設定されている場合、デバイス側で設定したスケジュールでこの URL に対してバージョンチェックを行います。 デバイス本体と FW 更新 URL に紐づけたファームウェアバージョンが異なる場合、ファームウェア更新が実行されます。
状態	有効/無効が選択できます。 無効にすると、デバイスは自動バージョンアップされなくなります。

「保存」ボタンを押して、保存して下さい。

FW 更新 URL 一覧に、登録した FW 更新 URL の情報が表示されていることを確認して下さい。

<div>確認</div>	ファームウェアのバージョンダウンは動作保証外となります。
---------------	-------------------------------------

4-6-3.削除

削除する FW 更新 URL の「削除」ボタンをクリックして下さい。

ファームウェア更新URL 削除

デバイスシリーズ(FW対応機種) 必須 MR-GM5L :[MR-GM5L]

デバイスグループ 必須 02:南関東グループ

FWバージョン名 必須 v2. (MR001)

送信プロトコル 必須 HTTPS

URL https://

状態 必須 有効

更新日:

削除 閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

この設定を削除しますか？

OK キャンセル

「OK」をクリックすると削除されます。「キャンセル」をクリックすると閉じます。

削除する設定のデバイスグループの配下にデバイスが紐づいている場合、以下の確認メッセージが表示されます。

このデバイスグループの配下にはデバイスがまだ紐づいています。本当に削除しますか？

OK キャンセル

デバイス側でこの URL を使っている可能性があるので、削除しても問題が無いか再度確認して下さい。

「OK」をクリックすると削除されます。

削除された URL がデバイスに登録されている場合、自動バージョンアップは行われなくなります。

4-7.死活監視アラート条件設定(管理者・ユーザーが操作可能)

「死活監視アラート条件設定」画面について説明します。

管理者アカウントでログインすると、自社の全てのデバイスグループの設定が表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分の設定のみが表示されます。

死活監視アラート条件設定

検索条件

デバイスグループ

検索

新規登録

死活監視アラート条件一覧 2件

10

行ごとに表示

フィルター検索:

デバイスグループ	監視種別	監視間隔	警告時通知先	停止時通知先	状態	操作
★[デフォルト設定]	HTTP監視 (GM5L)	5分	警告の時の通知先	緊急時	有効	編集 削除
[個別設定] 01グループ/02グループ	HTTP監視 (HTTP監視)	1分	警告の時の通知先	緊急時	有効	編集 削除

2件中 1 ~ 2 件目 表示

← 前

1

次 →

新規登録

画面の説明: 検索条件

<div> <div>デバイスグループ</div> <div></div> </div>	デバイスグループ名で検索します。
--	------------------

画面の説明: 一覧

<div>フィルター検索:</div>	デバイスグループ名、監視種別、監視間隔、警告時通知先、停止時通知先、状態など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかける事ができます。
<div>デバイスグループ</div>	設定に紐づけされたデバイスグループ名を表示します。 「デフォルト設定」: 管理者アカウントが全グループ共通として設定した設定になります。 「個別設定+デバイスグループ名」: デバイスグループ指定で個別に設定した項目が表示されています。デフォルト設定の編集削除などは管理者アカウントのみ操作可能です。
<div>監視種別</div>	死活監視の種別を表示します。 HTTP 監視: デバイスの HTTP 監視機能により死活監視を行います。 メール監視: デバイスのメール送信機能により死活監視を行います。
<div>監視間隔</div>	死活監視の監視間隔を表示します。
<div>警告時通知先</div>	警告時アラートの通知先設定名を表示します。
<div>停止時通知先</div>	停止時アラートの通知先設定名を表示します。
<div>状態</div>	死活監視アラート条件設定の有効・無効を表示します。
<div>編集</div>	編集画面が開きます。
<div>削除</div>	削除画面が開きます。
<div> <div>+</div> <div>新規登録</div> </div>	新規登録画面が開きます。

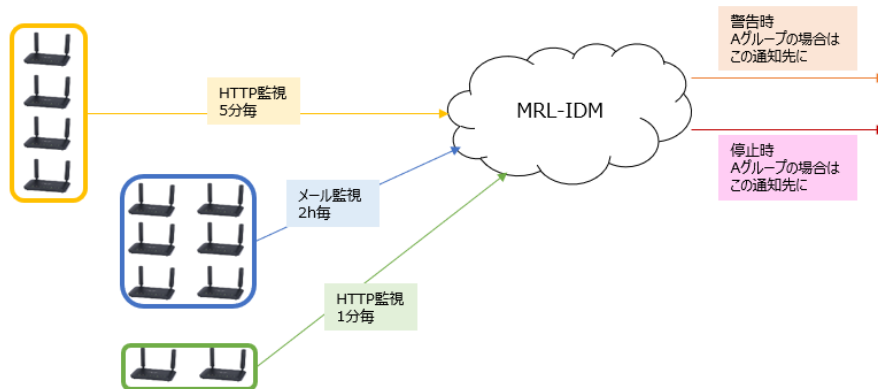
死活監視アラート条件設定は、デバイスシリーズ、デバイスグループごとに、監視種別、監視間隔、アラート通知先を設定できます。

管理者アカウントでは、「デバイスシリーズが同じデバイスグループ」は共通の「デフォルト設定」を設定することができ、デバイスグループ毎に設定を行わなくても、共通の設定を定義することができます。

「デフォルト設定」が設定されていても、各ユーザーが個別に自分の管理するデバイスグループに対する設定を行うことも可能です。ユーザーが個別の設定を行った場合は、そちらの設定が優先されます。

まず、管理者アカウントで、自社ポリシーに則り、全体のデフォルト設定を設定しておく、ユーザーの設定漏れなどがあっても死活監視は動作します。

各デバイスグループ毎に、
監視種別(HTTP/メール)、監視間隔、アラート通知先を設定できます。

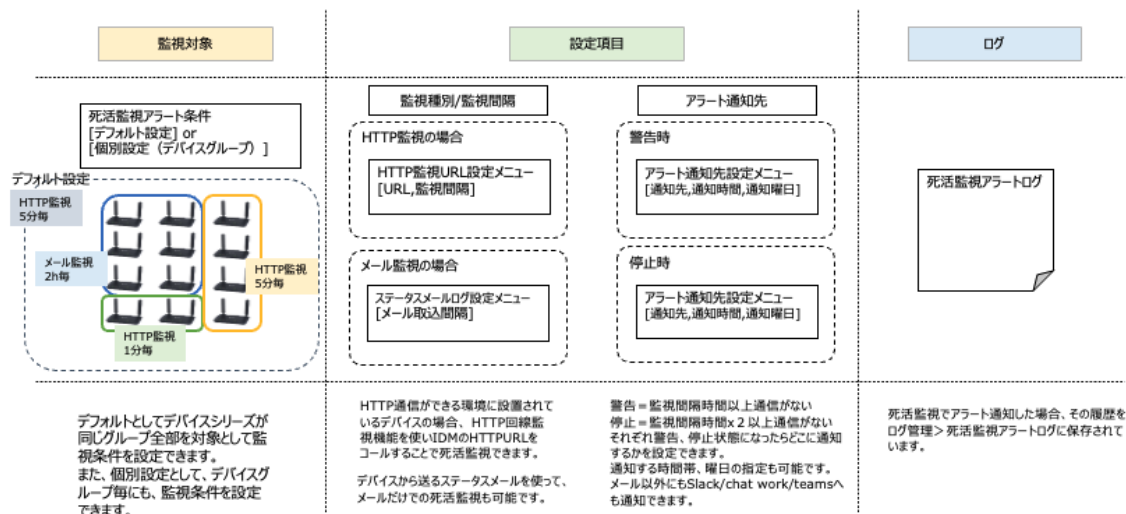


死活監視アラート条件設定メニューで、

- ・デフォルト設定か？個別のデバイスグループを対象とした設定か？
- ・デバイスシリーズは？
- ・どのデバイスグループを対象とした設定か？
- ・監視種別は？(HTTP 監視 or メール監視)
- ・監視間隔は？
- ・アラート通知先は？

を紐づけて、死活監視を行います。デバイスシリーズ毎にデフォルト設定を1つ登録できます。

また、アラート通知した際のログは、ログ管理の死活監視アラートログに保存されます。



確認

同じ条件で、ユーザーが個別にデバイスグループを指定して設定された[個別設定]条件があると、その条件が優先されます。

4-7-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

✕

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ 必須

デバイスグループ 必須

監視種別 必須

監視間隔 必須

通知先 必須

状態 必須

▼

▼

未選択です
+

▼

▼

警告時:
新規登録

▼

停止時:
新規登録

▼

有効
▼

※条件を登録しなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。

※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

登録

閉じる

デフォルト設定	この設定をデフォルト設定とするかどうかを選択してください。 デフォルト設定は1つだけ登録可能です。他の条件を登録する場合は個別設定としてデバイスグループを指定して登録してください。
デバイスシリーズ	どのデバイスシリーズを対象とするかを選択して下さい。
デバイスグループ	デバイスグループを選択して下さい。 デバイスグループは重複して条件を設定することはできません。 上記で選択したデバイスシリーズとデバイスグループの対象デバイスシリーズは一致するよう選択して下さい。
監視種別	HTTP 監視かメール監視を選択して下さい。
監視間隔	<p>【HTTP 監視】:監視間隔は「HTTP 監視 URL 設定」メニューで設定した「HTTP 監視間隔」の設定値が適用されます。</p> <p>【メール監視】:監視間隔は「ステータスメールログ設定」メニューで設定した「取り込み間隔」の設定値が適用されます。</p> <p>・監視間隔の横に表示される「新規登録」を押すと、新たに HTTP 監視 URL やステータスメールログ設定を作成することができます。</p> <p>・監視間隔を選択すると、監視間隔時間がテキストで表示されるようになります。ここで「編集」を押すと、HTTP 監視 URL やステータスメールログの編集を行い、間隔時間を変更することができます。</p>
通知先(警告時、停止時)	「アラート通知先設定」で設定した通知先を選択して下さい。
状態	<p>有効:死活監視チェックを行い、監視ログも保存されます。</p> <p>無効:死活監視チェックが行われず、監視ログも保存されません。</p>

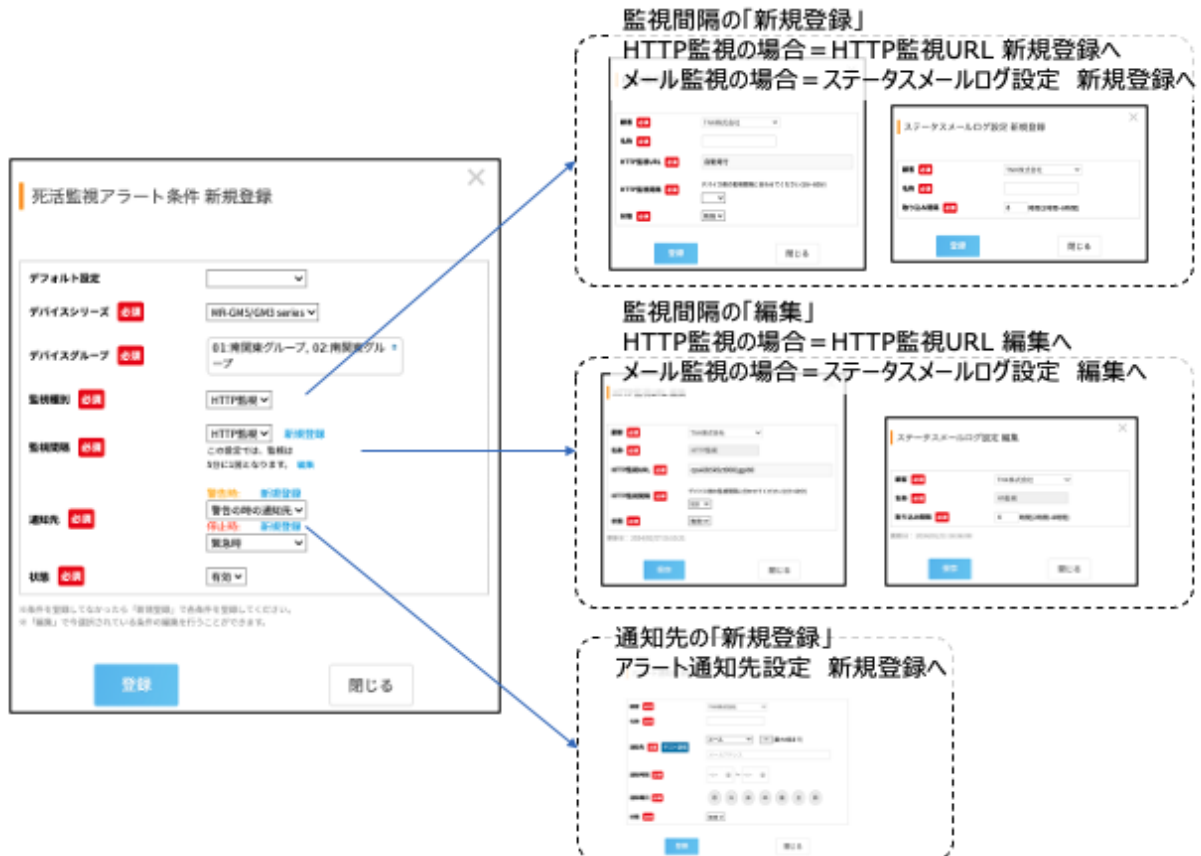
「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

38

死活監視アラート条件一覧に、登録した条件の情報が表示されていることを確認して下さい。

<div style="background-color: yellow; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; width: 15px; height: 15px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 10px; font-weight: bold;">確 認</div> </div> </div>	「デフォルト設定」は管理者のみ設定可能な項目です。
--	---------------------------

「死活監視アラート条件設定」画面と、他の設定との遷移関係は下図のようになります。



「死活監視アラート条件設定」画面から、「HTTP 監視 URL 設定」、「ステータスメールログ設定」の新規登録・編集、「アラート通知先設定」の新規登録が可能になっています。

4-7-2.編集

編集する死活監視アラート条件の「編集」ボタンをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 編集

デフォルト設定

デバイスシリーズ

必須

MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ

必須

01:南関東グループ, 02:南関東グループ

監視種別

必須

HTTP監視

監視間隔

必須

HTTP監視

新規登録

この設定では、監視は5分に1回となります。

編集

通知先

必須

警告時: 新規登録

警告の時の通知先

停止時: 新規登録

緊急時

状態

必須

無効

更新日: 2024/07/30 08:55:12

※条件を登録しなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。

※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

保存

閉じる

デフォルト設定	この設定をデフォルト設定とするかどうかを選択してください。 デフォルト設定は1つだけ登録可能です。他の条件を登録する場合は個別設定としてデバイスグループを指定して登録してください。
デバイスシリーズ	どのデバイスシリーズを対象とするかを選択して下さい。
デバイスグループ	デバイスグループを選択して下さい。 デバイスグループは重複して条件を設定することはできません。
監視種別	HTTP 監視かメール監視を選択して下さい。
監視間隔	<p>【HTTP 監視】: 監視間隔は「HTTP 監視 URL 設定」メニューで設定した「HTTP 監視間隔」の設定値が適用されます。</p> <p>【メール監視】: 監視間隔は「ステータスメールログ設定」メニューで設定した「取り込み間隔」の設定値が適用されます。</p> <p>・監視間隔の横に表示される「新規登録」を押すと、新たに HTTP 監視 URL やステータスメールログ設定を作成することができます。</p> <p>・監視間隔を選択すると、監視間隔時間がテキストで表示されるようになります。ここで「編集」を押すと、HTTP 監視 URL やステータスメールログの編集を行い、間隔時間を変更することができます。</p>
通知先(警告時、停止時)	「アラート通知先設定」で設定した通知先を選択して下さい。
状態	<p>有効: 死活監視チェックを行い、監視ログも保存されます。</p> <p>無効: 死活監視チェックが行われず、監視ログも保存されません。</p>

「保存」ボタンをクリックして下さい。死活監視アラート条件一覧に戻ります。

4-7-3.削除

削除する死活監視アラート条件の「削除」をクリックして下さい。

×

死活監視アラート条件 削除

デフォルト設定

▼

デバイスシリーズ

MR-GM5/GM3 series ▼

デバイスグループ

01:南関東グループ, 02:南関東グループ ▼

監視種別

HTTP監視 ▼

監視間隔

HTTP監視 ▼ [新規登録](#)
この設定では、監視は5分に1回となります。 [編集](#)

通知先

警告時: [新規登録](#)
警告の時の通知先 ▼
停止時: [新規登録](#)
緊急時 ▼

状態

無効 ▼

更新日: 2024/07/30 08:55:12

※条件を登録してなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。
※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

削除

閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

この設定を削除しますか？

OK

キャンセル

「OK」をクリックすると削除されます。「キャンセル」をクリックすると閉じます。

削除する設定のデバイスグループに他の設定が紐づいている場合、以下の確認メッセージが表示されます。

このデバイスグループは使用中です。本当に削除しますか？

OK

キャンセル

削除しても問題が無いか再度確認して下さい。

「OK」をクリックすると削除されます。

4-8.ステータスアラート条件設定(管理者・ユーザーが操作可能)

「ステータスアラート条件設定」画面について説明します。

管理者アカウントでログインすると、自社の全てのデバイスグループの設定が表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分の設定のみが表示されます。

ステータスアラート条件設定

検索条件

デバイスグループ

デバイスシリーズ

詳細名

送信条件

検索

新規登録

ステータスアラート条件一覧 2件

10

行ごとに表示

フィルター検索:

デバイスグループ	詳細名	送信条件	値	監視間隔	通知先	操作
★[デフォルト設定]	メール送信のトリガー	一致	WAN interface Active	4時間	緊急時	編集 削除
[個別設定] 01グループ	メール送信のトリガー	一致	WAN interface Active	2時間	警告の時の通知先	編集 削除

2件中1～2件目 表示

← 前

1

次 →



新規登録

画面の説明: 検索条件

デバイスグループ	デバイスグループ名で検索します。
デバイスシリーズ	デバイスシリーズで検索します。 MR-GM3 series/MR-GM5 series から選択します。
詳細名	デバイスシリーズを選択することで、そのデバイスシリーズに関係する詳細名が選択できるようになります。
送信条件	送信条件で検索します。

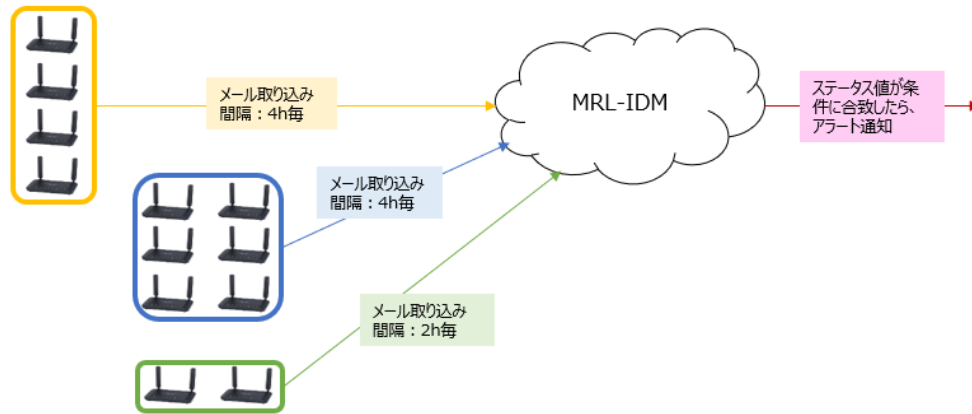
画面の説明: 一覧

フィルター検索:	デバイスグループ名、詳細名、送信条件、値、監視間隔、通知先など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかける事ができます。
デバイスグループ	設定に紐づけされたデバイスグループ名を表示します。 「デフォルト設定」: 管理者アカウントが全グループ共通として設定した設定になります。 「個別設定+デバイスグループ名」: デバイスグループ指定で個別に設定した項目が表示されています。デフォルト設定の編集削除などは管理者アカウントのみ操作可能です。
詳細名	詳細名（条件とするステータス名）を表示します。
送信条件	ステータスアラート送信の条件を表示します。（一致・以下・以上）
値	ステータスアラート送信の条件の値を表示します。
監視時間	ステータスメールログの取り込み間隔を表示します。
通知先	アラート条件に合致したときのアラート通知先設定名を表示します。
編集	編集画面が開きます。

	削除画面が開きます。
	新規登録画面が開きます。

ステータスアラート条件設定とは？

各デバイスグループ毎に、
デバイスのステータスを見てどういったアラートを送るか？を設定する画面になります。



デバイスのステータスは、各デバイス側のメール送信機能の設定を行い、MRL-IDM へステータスメールを送信して下さい。

管理者アカウントでは、全てのデバイスグループ共通の「デフォルト設定」を設定することができ、デバイスグループ毎に設定を行わなくても、共通の設定を定義することができます。

「デフォルト設定」が設定されていても、各ユーザーが個別に自分の管理するデバイスグループに対する設定を行うことも可能です。ユーザーが個別の設定を行った場合は、そちらの設定が優先されます。

まず、管理者アカウントで、自社ポリシーに則り、全体のデフォルト設定を設定しておく、ユーザーの設定漏れなどがあってもデフォルトのステータスアラート条件で監視は動作します。

デバイスから送信されるステータスの例：

- ・メールの送信トリガー（回線の接続やシステムの再起動）
- ・アンテナ状態（SQ）
- ・受信信号強度（RSSI）

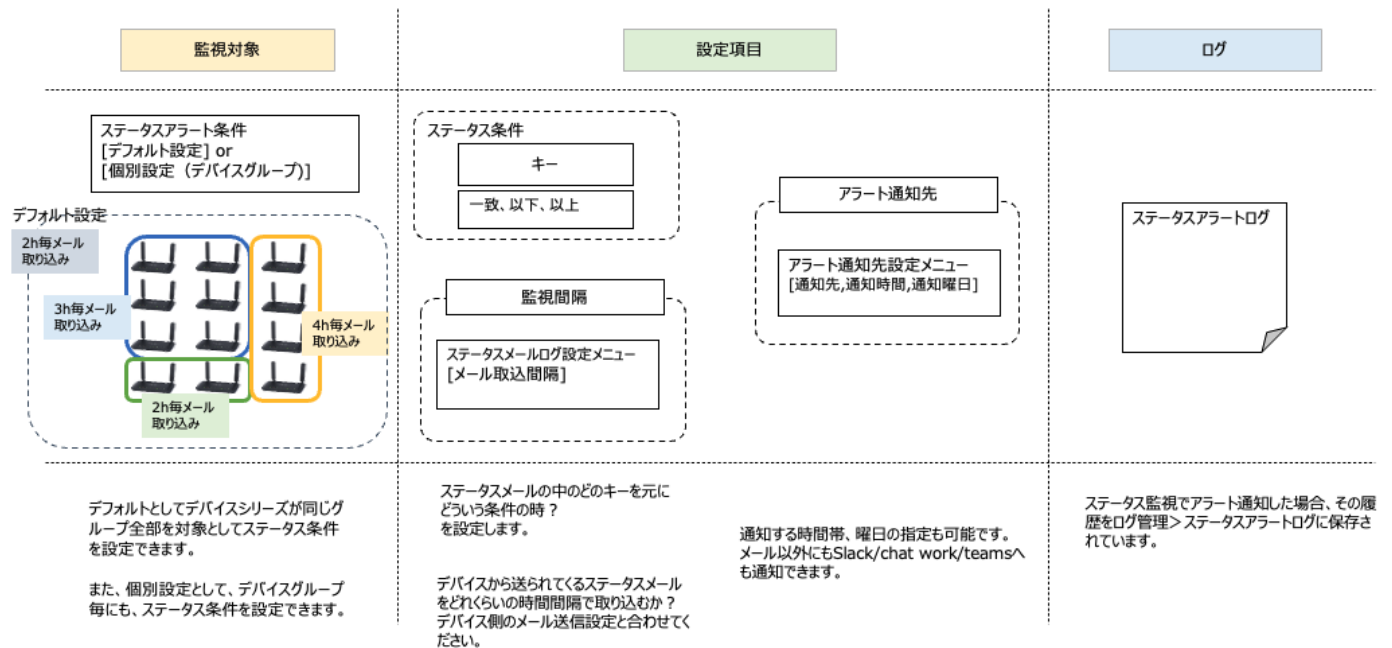
ステータスアラート条件設定メニューで、

- ・デフォルト設定か？個別のデバイスグループを対象とした設定か？
- ・どのデバイスグループを対象とした設定か？
- ・どのデバイスシリーズか？
- ・どのステータスが
- ・どうなったら？
- ・アラート通知先は？

を紐づけて、ステータス監視を行います。

また、アラート通知した際のログは、ログ管理のステータスアラートログにたまります。

まとめると、下図のような構成になります。



デフォルト設定は、死活監視アラート条件ではデバイスシリーズ毎に1つしか持てませんが、ステータスアラート条件では、ステータスのアラート条件毎に、デフォルト設定を1つもつことができます。

例えば、

- ・メール送信トリガー WAN Interface Active 一致
- ・メール送信トリガー LAN(eth0) Up 一致
- ・アンテナ状態(SQ) 3 以下

と3つの条件について、それぞれデフォルト設定ができます。

同じ条件で、ユーザーが個別にデバイスグループを指定して設定された条件があると、その条件が優先されます。

<p>確認</p>	<p>同じ条件で、ユーザーが個別にデバイスグループを指定して設定された条件があると、その条件が優先されます。</p>
------------------	--

4-8-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

×

ステータスアラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスグループ

必須

未選択です

デバイスシリーズ

必須

詳細名

必須

送信条件

必須

値

必須

監視間隔

必須

新規登録

通知先

必須

新規登録

※条件を登録しなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。

※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。


登録

閉じる

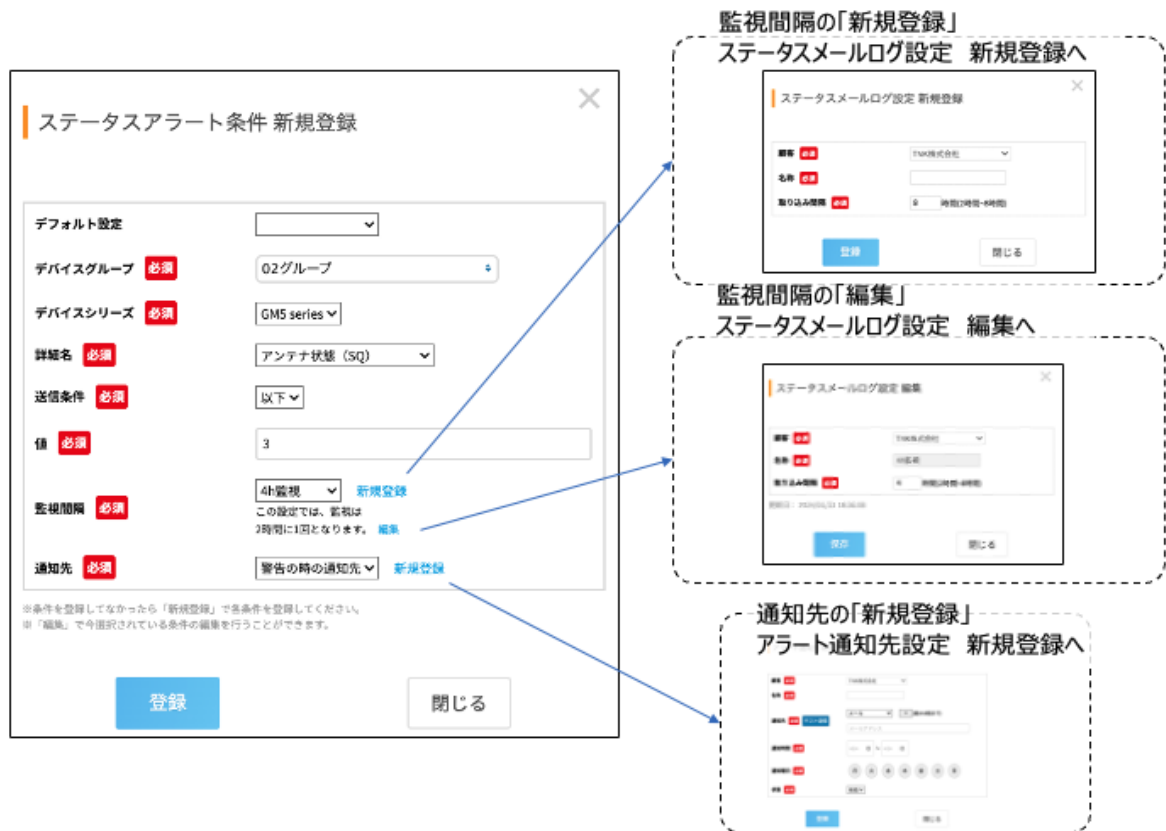
デフォルト設定	この設定をデフォルト設定とするかどうかを選択してください。
デバイスグループ	デバイスグループを選択して下さい。 デバイスグループは重複して条件を設定することはできません。
デバイスシリーズ	使用するデバイスシリーズを選択して下さい。 (GM3 series/GM5 series) デバイスシリーズにより、詳細名の選択肢が変わります。
詳細名	詳細名(条件とするステータス名)を選択して下さい。
送信条件	ステータスアラート送信の条件を表示します。(値と一致・以上・以下)
値	ステータスアラート送信の条件の値を表示します。
監視間隔	監視間隔(ステータスメールログ設定)を選択して下さい。
通知先	アラート通知先を選択して下さい。

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

ステータスアラート条件一覧に、登録した条件の情報があることを確認して下さい。

	「デフォルト設定」は管理者のみ設定可能な項目です。
---	---------------------------

「ステータスアラート条件設定」画面と、他の設定との遷移関係は下図のようになります。



「ステータスアラート条件設定」画面から、「ステータスメールログ設定」の新規登録・編集、「アラート通知先設定」の新規登録が可能になっています。

4-8-2.編集

該当条件の「編集」ボタンをクリックして下さい。

×

ステータスアラート条件 編集

デフォルト設定

デバイスグループ

必須

01グループ

デバイスシリーズ

必須

GM3 series

詳細名

必須

メール送信のトリガー

送信条件

必須

一致

値

必須

WAN interface Active

監視間隔

必須

4h監視

新規登録

この設定では、監視は2時間に1回となります。

編集

通知先

必須

警告の時の通知先

新規登録

登録日: 2024/07/11 20:17:56

更新日: 2024/07/29 15:05:09

※条件を登録してなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。

※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

保存

閉じる

デフォルト設定	この設定をデフォルト設定とするかどうかを選択してください。
デバイスグループ	デバイスグループを選択して下さい。 デバイスグループは重複して条件を設定することはできません。
デバイスシリーズ	使用するデバイスシリーズを選択して下さい。 (GM3 series/GM5 series) デバイスシリーズにより、詳細名の選択肢が変わります。
詳細名	詳細名(条件とするステータス名)を選択して下さい。
送信条件	ステータスアラート送信の条件を表示します。(値と一致・以上・以下)
値	ステータスアラート送信の条件の値を表示します。
監視間隔	監視間隔(ステータスメールログ設定)を選択して下さい。
通知先	アラート通知先を選択して下さい。

「保存」ボタンをクリックして下さい。ステータスアラート条件一覧に戻ります。

4-8-3.削除

削除するステータスアラート条件の「削除」をクリックして下さい。

×

ステータスアラート条件 削除

デフォルト設定

▼

デバイスグループ

01グループ

▼

デバイスシリーズ

GM3 series

▼

詳細名

メール送信のトリガー

▼

送信条件

一致

▼

値

WAN interface Active

監視間隔

4h監視

▼

新規登録

この設定では、監視は2時間に1回となります。

編集

通知先

警告の時の通知先

▼

新規登録

登録日：2024/07/11 20:17:56
更新日：2024/07/29 15:05:09
※条件を登録しなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。
※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

削除

閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

この設定を削除しますか？

OK

キャンセル

「OK」をクリックすると削除されます。「キャンセル」をクリックすると閉じます。

4-9.HTTP 監視 URL 設定(管理者・ユーザーが操作可能)

「HTTP 監視 URL 設定」画面について説明します。

管理者アカウント、ユーザーアカウントでログインすると、自社内で登録した HTTP 監視 URL が表示されます。





画面の説明: サジェスト

<p>サジェスト (ビジネスプランのみ)</p>	<p>HTTP 監視 URL を作成してから 1 日以上経過しても、死活監視アラート条件に紐づけられていない URL があった場合メッセージが表示されます。(HTTP 監視 URL をデバイス側に設定しても、死活監視アラートに紐づいていないと HTTP 監視チェックは行われません。また HTTP 監視ログにも残りません。)</p>
-------------------------------------	--

画面の説明: 検索条件

<p>名称 <input type="text"/></p>	<p>HTTP 監視の設定名称で検索します。</p>
--------------------------------	----------------------------

画面の説明: 一覧

<p>フィルター検索: <input type="text"/></p>	<p>名称、URL、監視間隔、状態など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。</p>
<p>名称</p>	<p>設定名称を表示します。</p>
<p>デバイスシリーズ</p>	<p>どのデバイスシリーズ用の URL かを表示します。</p>
<p>URL</p>	<p>HTTP 監視の URL を表示します。</p>
<p></p>	<p>URL をクリップボードにコピーします。</p>
<p>監視間隔</p>	<p>HTTP 監視の間隔(分単位)を表示します。</p>
<p>状態</p>	<p>設定の有効・無効を表示します。</p>
<p></p>	<p>編集画面が開きます。</p>
<p></p>	<p>削除画面が開きます。</p>
<p></p>	<p>新規登録画面が開きます。</p>

4-9-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

HTTP監視URL 新規登録

名称 必須

デバイスシリーズ 必須

▼

送信プロトコル 必須

▼

HTTP監視URL 必須

自動発行

HTTP監視間隔 必須

デバイス側の発行間隔より長くしてください(1分~60分)

▼

状態 必須

有効▼

登録

閉じる

名称	この HTTP 監視 URL の名称を設定して下さい。 ここで設定した名称が、死活監視アラート条件で表示されます。
デバイスシリーズ	どのデバイスシリーズを対象とする HTTP 監視 URL か選択して下さい。
HTTP 監視 URL	(自動発行)
HTTP 監視間隔	HTTP 監視間隔を選択します。 ビジネスプラン=1 分～60 分で指定します。 スタンダードプラン=30 分固定です。
状態	有効/無効が選択できます。 状態を「無効」にすると、デバイスが URL に対して HTTP 回線監視を行なっても応答を返さなくなります。

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

HTTP 監視 URL一覧に、登録した情報があることを確認して下さい。

<div>確認</div>	HTTP 監視間隔の時間は、デバイス側で設定した発行間隔より長く設定して頂く事を推奨します。 例:MR-GM3 側は 15 分の場合、MRL-IDM の死活監視間隔 30 分にする。
	死活監視アラート通知の間隔は、HTTP 監視間隔の時間が適用されます。 例:HTTP 監視間隔を「30 分」で設定した場合、30 分間隔でアラート通知されます。

4-9-2.編集

該当 URL の「編集」ボタンをクリックして下さい。

HTTP監視URL 編集

名称 必須

GM3/GM5用

デバイスシリーズ 必須

MR-GM5/GM3 series

送信プロトコル 必須

HTTPS

HTTP監視URL 必須

https://

HTTP監視間隔 必須

5分

状態 必須

有効

デバイス側の発行間隔より長くしてください(1分-60分)

更新日: 2024/09/12 18:48:13

保存

閉じる

名称	この HTTP 監視 URL の名称を指定して下さい。 ここで設定した名称が、死活監視アラート条件で表示されます。
デバイスシリーズ	編集不可です。
HTTP 監視 URL	編集不可です。
HTTP 監視間隔	HTTP 監視間隔を選択します。 ビジネスプラン=1 分～60 分で指定します。 スタンダードプラン=30 分固定です。
状態	有効/無効が選択できます。 状態を「無効」にすると、デバイスが URL に対して HTTP 回線監視を行なっても応答を返さなくなります。

「保存」ボタンをクリックして下さい。HTTP 監視 URL 一覧に戻ります。

状態を「無効」にするときに、すでに死活監視アラートの条件に紐づいている場合、

「死活監視アラート条件設定で、この URL を利用している条件があります。
まず紐づきを解除してから無効、あるいは削除して下さい。」

と表示され、更新されません。まず、死活監視アラート条件から削除してから、「無効」にするようにして下さい。

4-9-3.削除

該当 URL の「削除」ボタンをクリックして下さい。

HTTP監視URL 削除

名称 GM3/GM5用

デバイスシリーズ MR-GM5/GM3 series ▼

送信プロトコル HTTPS ▼

HTTP監視URL https://

HTTP監視間隔 デバイス側の発行間隔より長くしてください(1分~60分)
5分 ▼

状態 有効 ▼

更新日: 2024/09/12 18:48:13

削除 閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

このHTTP監視用URLを削除しますか？

OK キャンセル

「OK」をクリックすると削除されます。「キャンセル」をクリックすると閉じます。

もし、削除しようとしている URL がまだ死活監視アラート条件のどれかに紐づいている場合、

「この HTTP 監視用 URL は死活監視アラート条件に設定されています。

まず死活監視アラート条件から外してから、こちらを削除するようにして下さい。」

と表示され、削除することはできません。まず紐づけを解いてから削除するようにしましょう。

4-10.ステータスメールログ設定(管理者・ユーザーが操作可能)

「ステータスメールログ設定」画面について説明します。

デバイスから送られてくるステータスメールログの取り込み間隔時間を設定して、ステータスアラート条件設定で指定します。
管理者アカウント、ユーザーアカウントでログインすると、自社内で登録したステータスメールログ設定が表示されます。

ステータスメールログ設定

検索条件

名称

検索

新規登録

ステータスメールログ一覧 2件

10 行ごとに表示

フィルター検索:

名称	取り込み間隔	操作
4h監視	4	編集 削除
2h監視	2	編集 削除

2件中 1 ～ 2 件目 表示

← 前

1

次 →

新規登録

画面の説明: サジェスト

サジェスト (ビジネスプランのみ)

ステータスメールログの設定を登録してから1日以上経過しても、死活監視アラート条件にもステータスアラート条件にも紐づけられていない設定があった場合メッセージが表示されます。(ステータスアラート条件に紐づけられないとメールの取り込みは行われません。またステータスメールログにも残りません。)

画面の説明: 検索条件

名称

ステータスメールログ名称を指定します。
「検索」ボタンをクリックすると、絞り込まれます。

画面の説明: 一覧部分

フィルター検索:

名称、取り込み間隔、状態など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。

名称

設定名称を表示します。

取り込み間隔

ステータスメールの取り込み間隔(時間単位)を表示します。

編集

編集画面が開きます。

削除

削除画面が開きます。

新規登録

新規登録画面が開きます。

4-10-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

ステータスメールログ設定 新規登録

名称 **必須**

取り込み間隔 **必須** 時間(2時間~8時間)

登録 閉じる

名称	ステータスメールログ設定の名称を設定して下さい。
取り込み間隔	デバイスからのステータスメールログの取り込み間隔を指定して下さい。この間隔時間はデバイス側のメール送信設定の送信間隔と合わせるようにして下さい。

「登録」ボタンを押して、保存して下さい。

ステータスメールログ一覧に、登録した情報があることを確認して下さい。

	<p>ステータスアラート通知の間隔は、取り込み間隔の時間が適用されます。</p> <p>例: 取り込み間隔を「2 時間」で設定した場合、2 時間間隔でアラート通知されます。</p>
--	--

4-10-2.編集

編集するステータスメールログ設定の「編集」ボタンをクリックして下さい。

×

ステータスメールログ設定 編集

名称 必須

2時間監視

取り込み間隔 必須

2 時間(2時間~8時間)

更新日：2024/05/07 07:41:59

保存

閉じる

名称	このステータスメールログ設定の名称を指定して下さい。
取り込み間隔	デバイスからのステータスメールログの取り込み間隔を指定して下さい。この間隔時間はデバイス側のメール送信設定の送信間隔と合わせるようにして下さい。

「保存」ボタンをクリックして下さい。ステータスメールログ一覧に戻ります。

4-10-3.削除

該当設定の「削除」ボタンをクリックして下さい。



ステータスメールログ設定 削除

名称 2時間監視

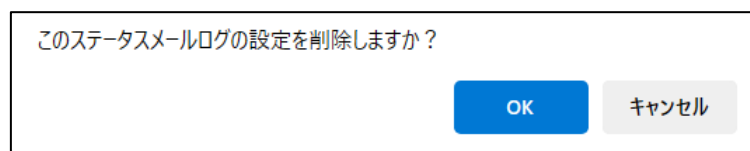
取り込み間隔 2 時間(2時間~8時間)

更新日：2024/05/07 07:41:59

削除 閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



このステータスメールログの設定を削除しますか？

OK キャンセル

「OK」をクリックすると削除されます。「キャンセル」をクリックすると閉じます。

もし、削除しようとしているステータスメールログ設定がまだ死活監視アラート条件かステータスアラート条件のどれかに紐づいている場合、

「このステータスメールログは死活監視アラート条件に設定されています。
まず死活監視アラート条件から外してから、こちらを削除するようにして下さい。」

と表示され、削除することはできません。まず紐づけを解いてから削除するようにしましょう。

4-11.アラート通知先設定(管理者・ユーザーが操作可能)

「アラート通知先設定」画面について説明します。

アラート条件が合致した場合に、アラート通知を送る宛先についての情報を登録します。

管理者アカウント、ユーザーアカウントでログインすると、自社内で登録されたアラート通知先が表示されます。

アラート通知先設定

検索条件

通知先名

検索

新規登録

アラート通知先一覧 2件

10 行ごとに表示

フィルター検索:

通知先名	通知先	通知時間	通知曜日	状態	操作
警告の時の通知先	メール/chatwork/ slack/Teams	00:00~23:59	月/火/水/木/金/土/日	有効	<div>編集</div> <div>削除</div>
緊急時	メール/chatwork	00:00~23:59	月/火/水/木/金/土/日	有効	<div>編集</div> <div>削除</div>

2件中 1 ~ 2 件目 表示

← 前

1

次 →

新規登録

画面の説明: サジェスト

サジェスト (ビジネスプランのみ)

アラート通知先が作られてから1日以上経っているのに、死活監視アラート条件にも、ステータスアラート条件にも紐づけられていない場合ここに表示されます。

画面の説明: 検索条件

通知先名

アラート通知先名を指定します。

画面の説明: 一覧部分

フィルター検索:

通知先名、通知先、通知時間、通知曜日、状態など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。

通知先名

通知先の設定名を表示します。

通知先

通知先の種別を表示します。

通知時間

通知する時間帯を表示します。

通知曜日

通知する曜日を表示します。

状態

設定の有効・無効を表示します。

編集

編集画面が開きます。

削除

削除画面が開きます。

新規登録

新規登録画面が開きます。

4-11-1.新規登録

「新規登録」ボタンをクリックして下さい。

通知先名	アラート通知先設定の名称を設定して下さい。
通知先	メール/slack/chat work/teams から選択します。 ビジネスプランの場合、「+」ボタンを押すことで最大 4 つまで通知先を増やすことができます。
通知時間	ここで指定した時間内のみアラート通知を送信します。
通知曜日	ここで指定した曜日のみアラート通知を送信します。
状態	有効/無効が選択できます。 状態を「無効」にすると、アラート通知を行いません。

「登録」ボタンをクリックして下さい。アラート通知先一覧に戻ります。

通知先について	
メール	メールアドレスを設定して下さい。
slack	「Incoming WebHook」の URL と、「channel」を設定して下さい。
chatwork	「API token」と「room id」を設定して下さい。
teams	「Incoming WebHook」の URL を設定して下さい。

4-11-2.編集

該当アラート通知先の「編集」ボタンをクリックして下さい。

アラート通知先 編集

通知先名 必須

緊急時

メール

+

最大4個まで

taro.tanaka@network.net

通知先 必須

テスト送信

chatwork

-

f772d129ac5de9183d2f33333333333

3433533333

通知時間 必須

00:00

~

23:59

通知曜日 必須

月

火

水

木

金

土

日

状態 必須

有効

更新日：2024/01/03 19:07:57

保存

閉じる

通知先名	アラート通知先設定の名称を設定して下さい。
通知先	メール/slack/chat work/teams から選択します。 ビジネスプランの場合、「+」ボタンを押すことで最大 4 つまで通知先を増やすことができます。
通知時間	ここで指定した時間内のみアラート通知を送信します。
通知曜日	ここで指定した曜日のみアラート通知を送信します。
状態	有効/無効が選択できます。 状態を「無効」にすると、アラート通知を行いません。

「保存」ボタンをクリックして下さい。アラート通知先一覧に戻ります。

状態を「無効」にする場合、すでに死活監視アラートかステータスアラートの条件に紐づいていると、

「このアラート通知先は死活監視アラート条件に設定されています。
まず死活監視アラート条件から外してから、こちらを削除するようにして下さい。」

と表示され、更新されません。まず、アラート条件から削除してから、「無効」に変更して下さい。

4-11-3.削除

削除するアラート通知先の「削除」ボタンをクリックして下さい。

アラート通知先 削除

通知先名: 緊急時

通知先: メール (最大4個まで)

taro.tanaka@network.net

通知先: chatwork

f772d129ac5de9183d2f6f333333333

343353333

通知時間: 00:00 ~ 23:59

通知曜日: 月 火 水 木 金 土 日

状態: 有効

更新日: 2024/01/03 19:07:57

削除 閉じる

削除しない場合は「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

このアラート通知先を削除しますか?

OK キャンセル

OKをクリックすると削除されます。「キャンセル」をクリックすると閉じます。

もし、削除しようとしているアラート通知先がまだ死活監視アラート条件、ステータスアラート条件のどれかに紐づいている場合、

「このアラート通知先は死活監視アラート条件に設定されています。
まず死活監視アラート条件から外してから、こちらを削除するようにして下さい。」

と表示され、削除することはできません。まず紐づけを解いてから削除するようにしましょう。

4-12.ログ保存期間設定(管理者のみ操作可能)

「ログ保存期間設定」画面について説明します。
各種ログの保存期間を設定します。

確認

「ログ保存期間設定」は全デバイスグループ共通の設定となります。

ログ保存期間設定

ログ保存期間一覧 5件		
10 ▼ 行ごとに表示	フィルター検索:	
ログ種別	保存期間	操作
死活監視アラートログ保存期間	14日	編集
ステータスアラートログ保存期間	14日	編集
HTTP監視ログ保存期間	14日	編集
ステータスメールログ保存期間	14日	編集
デバイスオペレーションログ保存期間	14日	編集

5件中 1 ～ 5 件目 表示

← 前 1 次 →

画面の説明:一覧

フィルター検索:	ログ種別、保存期間など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。
ログ種別	MR-IDM で保存されるログの種別を表示します。
保存期間	各ログの保存期間を表示します。 ビジネスプランの場合、初期値は 14 日で設定されています。14 日～180 日の範囲で設定可能です。 スタンダードプランの場合、7 日固定です。
編集	編集画面が開きます。

4-12-1.編集

該当設定の「編集」ボタンをクリックして下さい。

×

ログ保存期間 編集

ログ種別

死活監視アラートログ保存期間

14日～180日で設定できます

ログ保存期間

14

更新日：2024/03/20 12:33:24

保存

閉じる

ログ種別	設定するログの種別が表示されます。
ログ保存期間	14 日～180 日で指定します。 ビジネスプランの場合、14 日～180 日の範囲で設定可能です。 スタンダードプランの場合、7 日固定です。(変更不可)

「保存」ボタンをクリックして下さい。ログ保存期間一覧に戻ります。

63

4-13. 死活監視アラートログ(管理者・ユーザーが操作可能)

「死活監視アラートログ」画面について説明します。

死活監視で警告状態、停止状態を検知してアラートを送った履歴を閲覧することができます。

管理者アカウントでログインすると、自社内の全てのデバイスグループのログが表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分のログのみが表示されます。



死活監視アラート通知の間隔は、HTTP 監視 URL 設定の HTTP 監視間隔の時間が適用されます。
例: HTTP 監視間隔を「30 分」で設定した場合、30 分間隔でアラート通知されます。

死活監視アラートログ

検索条件

デバイスグループ

機種

機器名称

通知先

アラート送信日

検索

死活監視アラート一覧 3件

10 行ごとに表示

フィルター検索:

エクスポート

送信日時	デバイスグループ	機種	機器名称	アラートタイプ	通知先	アラート内容
2024/03/18 16:06:31	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	HTTP監視	警告の時の通知先	詳細
2024/03/17 19:58:32	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	HTTP監視	緊急時	詳細
2024/03/17 19:53:31	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	HTTP監視	警告の時の通知先	詳細

3件中 1 ~ 3 件目 表示



← 前


1

次 →

画面の説明: 検索条件

デバイスグループ	デバイスグループを選択します。
機種	機種を選択します。
機器名称	機器名称を指定します。
通知先	通知先を指定します。
アラート送信日	アラート送信日を指定します。

画面の説明:一覧	
フィルター検索: <input type="text"/>	送信日時、デバイスグループ、機種、機器名称、アラートタイプ、通知先など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。
送信日時	アラート通知を送信した日時を表示します。
デバイスグループ	デバイスグループ名を表示します。
機種	機種名を表示します。
機器名称	機器名称を表示します。
アラートタイプ	死活監視のタイプを表示します。 HTTP 監視: HTTP 通信に死活監視 メール監視: メールによる死活監視
通知先	アラートを送信したアラート通知先設定名を表示します。
	アラート内容の詳細画面が開きます。
 エクスポート	現在画面に表示されている内容が CSV でエクスポートされます。 ビジネスプランのみの機能となります。

	死活監視アラート通知の間隔は、HTTP 監視 URL 設定の HTTP 監視間隔の時間が適用されます。 例: HTTP 監視間隔を「30 分」で設定した場合、30 分間隔でアラート通知されます。
---	--

4-13-1.詳細

該当アラートログの「詳細」ボタンをクリックして下さい。

詳細

項目	内容
アラート種別	警告
対象デバイス	海岸ビルA棟9F
アラート送信日時	2024/03/18 16:06:31
アラート通知先	警告の時の通知先

送信日時：2024/03/18 16:06:31

閉じる

アラート種別	警告 or 停止が表示されます。
対象デバイス	機器名称を表示します。
アラート送信日時	アラート送信日時が表示されます。
アラート通知先	アラートを送信したアラート通知先設定名を表示します。

「閉じる」ボタンをクリックして下さい。死活監視アラート一覧に戻ります。

4-14.ステータスアラートログ(管理者・ユーザーが操作可能)

「ステータスアラートログ」画面について説明します。

ステータス監視で設定されている条件と合致した場合に送られるアラートの履歴を閲覧することができます。

管理者アカウントでログインすると、自社の全てのデバイスグループのログが表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分のログのみが表示されます。

確認

ステータスアラート通知の間隔は、ステータスメールログ設定の「取り込み間隔」の時間が適用されます。
例: 取り込み間隔を「2 時間」で設定した場合、2 時間間隔でアラート通知されます。

ステータスアラートログ

検索条件

デバイスグループ

▼

機種

▼

機器名称

通知先

▼

詳細名

▼

アラート送信日

~

アラートメール本文:

検索

ステータスアラート一覧 0件

10

行ごとに表示

フィルター検索:

↓ エクスポート

送信日時	デバイスグループ	機種	機器名称	詳細名	メール件名	メール内容
データがありません						



0件 表示

← 前

次 →

画面の説明: 検索条件

デバイスグループ	▼	デバイスグループを選択します。。
機種	▼	機種を選択します。
機器名称		機器名称を指定します。
通知先	▼	通知先を指定します。
詳細名	▼	詳細名を選択します。
アラート送信日	~	アラート送信日を指定します。
アラートメール本文:		アラートメール本文中の文字列を指定します。 SQ に関するアラートメールだけを抽出する場合などには、SQ と指定して下さい。

画面の説明：一覧	
フィルター検索: <input type="text"/>	送信日時、デバイスグループ、機種、機器名称、詳細名、メール件名など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。
送信日時	アラート通知を送信した日時を表示します。
デバイスグループ	デバイスグループ名を表示します。
機種	機種名を表示します。
機器名称	機器名称を表示します。
詳細名	アラートの詳細名(キー)を表示します。
メール件名	アラートの件名を表示します。
	詳細画面が開きます。
 エクスポート	現在画面に表示されている内容が CSV でエクスポートされます。 ビジネスプランのみの機能となります。

4-14-1.詳細

該当アラートログの「詳細」ボタンをクリックして下さい。

アラート通知履歴 詳細

アラート件名

【MRL-IDM】ステータスアラート通知

本文

MR-GM3LTE1Fのステータスチェックで、
メール送信のトリガー(Trigger)が指定された値「WAN interface Active」一致になりました。
Trigger : WAN interface Active

送信日時：2024/05/08 12:41:02

閉じる

通知先に送信された内容が表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックして下さい。ステータスアラート一覧に戻ります。

4-15. HTTP 監視ログ(管理者・ユーザーが操作可能)

「HTTP 監視ログ」画面について説明します。

デバイスから HTTP 監視用 URL をコールした履歴を閲覧することができます。

管理者アカウントでログインすると、自社の全てのデバイスグループのログが表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分のログのみが表示されます。

確認

HTTP 監視ログは、直近 3 時間のログは全て表示されます。
3 時間以上経過したログは「1 時間ごと、または IP アドレスが変化した前後のログ」のみが表示されます。
送信元 IP アドレスが変化したログは色違いで表示されます。

HTTP監視ログ

検索条件

設置場所

機器名称

期間

デバイスグループ

S/N

機種

IPアドレス

MACアドレス

検索

HTTP監視ログ一覧 107件

10 行ごとに表示

フィルター検索:

エクスポート

登録日時	設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称	S/N	IPアドレス	MACアドレス	ログ種別
2024/03/20 18:10:39	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 18:05:34	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 18:00:29	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 17:55:24	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 17:50:19	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 17:45:14	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 17:40:09	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視
2024/03/20 17:35:04	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM		00:10:38:	HTTP監視

107件中 1 ~ 10 件目 表示

← 前

1

2

3

4

5

次 →

画面の説明：検索条件	
設置場所	設置場所を指定します。
デバイスグループ	デバイスグループを選択します。。
機種	機種を選択します。
機器名称	機器名称を指定します。
S/N	シリアル No を指定します。
IPアドレス	IP アドレスを指定します。
MACアドレス	MAC アドレスを指定します。
期間	ログの期間を指定します。

画面の説明:一覧	
フィルター検索: <input type="text"/>	登録日時、設置場所、デバイスグループ、機種、機器名称、S/N、IP アドレス、MAC アドレス、ログ種別など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。
受信日時	HTTP 監視通信を受信した日時を表示します。
設置場所	デバイス登録時に設定した設置場所を表示します。
デバイスグループ	デバイスグループを表示します。
機種	機種名を表示します。 ステータスメールを受信していない場合、空欄になります。
機器名称	デバイス登録時に設定した機器名称を表示します。
S/N	デバイス登録時に設定したシリアル No が表示されます。
IP アドレス	HTTP 監視通信の送信元 IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	デバイス登録時に設定した MAC アドレスが表示されます。
ログ種別	「HTTP 監視」と表示されます。
<div>↓ エクスポート</div>	今画面に表示されている内容が CSV でエクスポートされます ビジネスプランのみの機能となります。

4-16.ステータスメールログ(管理者・ユーザーが操作可能)

「ステータスメールログ」画面について説明します。

デバイスから送られてきたステータスメールログを取り込んで解析したものが保存されており、ログ保存期間中に閲覧することができます。

管理者アカウントでログインすると、自社の全てのデバイスグループのログが表示されます。

ユーザーアカウントでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分のログのみが表示されます。

ステータスメールログ

検索条件

設置場所

デバイスグループ

機種

機器名称

S/N

IPアドレス

MACアドレス

期間

メール送信のトリガー

検索

ステータスメールログ一覧 229件

10

行ごとに表示

フィルター検索:

登録日時

設置場所

デバイスグループ

機種

機器名称

S/N

IPアドレス

MACアドレス

ログ種別

メール受信日時

ログ内容

2024/09/12 17:54:04

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 16:28:14

詳細

2024/09/12 15:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 14:27:00

詳細

2024/09/12 13:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 12:25:46

詳細

2024/09/12 11:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 10:24:32

詳細

2024/09/12 11:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 08:23:23

詳細

2024/09/12 09:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 08:23:25

詳細

2024/09/12 07:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 07:33:44

詳細

2024/09/12 05:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 05:32:30

詳細

2024/09/12 03:54:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0

メール

2024/09/12 03:31:17

詳細

2024/09/12 01:53:03

海岸ビル 1F

01:南関東グループ

MR-GM3-M

GM3-M(test)

192.168.1.100

00:10:38:37:75:A0


メール

2024/09/12 01:30:03

詳細

画面の説明：検索条件	
設置場所	設置場所を指定します。
デバイスグループ	デバイスグループを選択します。
機種	機種を選択します。
機器名称	機器名称を指定します。
S/N	シリアル No を指定します。
IPアドレス	IP アドレスを指定します。
MACアドレス	MAC アドレスを指定します。
期間	ログ期間を指定します。
メール送信のトリガー	メール送信のトリガーを指定します。 例えば Smtexec Power on Started を指定して、起動時のメールログのみ抽出することができます。

72

画面の説明:一覧	
フィルター検索: <input type="text"/>	登録日時、設置場所、デバイスグループ、機種、機器名称、S/N、IP アドレス、MAC アドレス、ログ種別など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。
登録日時	ステータスメールログを登録した日時を表示します。 ステータスメールログ設定で設定した時間の間隔で登録されます。 例:2 時間で設定した場合、2 時間間隔で登録されます。
設置場所	デバイス登録時に設定した設置場所を表示します。
デバイスグループ	デバイスグループを表示します。
機種	機種名を表示します。
機器名称	デバイス登録時に設定した機器名称を表示します。
S/N	デバイス登録時に設定したシリアル No が表示されます。
IP アドレス	デバイスの WAN 側 IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	デバイス登録時に設定した MAC アドレスが表示されます。
ログ種別	「メール」と表示されます。
メール受信日時	MEL-IDM がメールを受信した日時を表示します。
<div>詳細</div>	詳細画面が開きます。
<div>  エクスポート </div>	今画面に表示されている内容が CSV でエクスポートされます ビジネスプランのみの機能となります。

4-16-1.詳細

該当ログの「詳細」ボタンをクリックして下さい。
デバイスから送られてきたステータスメールの内容を解析して表示します。

詳細

メールデータ

メール受信日時:2024/05/09 17:46:23

メール送信のトリガー	Periodical
起動経過時間	1days:2:6:8s
ファームウェアバージョン	v1.04.02(MR001)
ファームウェアビルド日時	Tue Oct 24 17:39:22 JST 2023
コンフィグバージョン	Default:22 Current:22
システム負荷	0.00 0.00 0.00 1/37
RAM使用量	17312 KB / 114064 KB
ROM使用量	mt1: 3512 KB / 10240 KB
機種名	MR-GM3-DKS
装置名称	MR-GM3
NTPクライアントの同期状態	Synchronized

WAN情報(GM3)

WAN接続モード	Mobile Card(Built-in MODULE)
SIMカードの電話番号	
内蔵通信モジュールの端末識別番号	
LTE通信網の圏内・圏外 (1=圏内、0=圏外)	1
アンテナ状態 (0~4)	4
受信信号強度	-51dBm
LTEの周波数帯 (LTE frequency band)	100
内蔵通信モジュールのバージョン	11-18
モジュールキャリア選択値	0,2
WAN側IPアドレス	

WLAN情報(GM3)

無線LAN1のSSID	MR-GM3 5G
無線LAN1の動作モード	AP
無線LAN1の周波数	5 GHz (A+N+AC)
無線LAN1のチャンネル番号	36
無線LAN1の暗号モード	WPA2 Mixed
無線LAN1のBSSID	00:10:38:
無線LAN1のクライアント数	0
無線LAN2のSSID	MR-GM3 2.4G
無線LAN2の動作モード	AP
無線LAN2の周波数	2.4 GHz (B+G+N)
無線LAN2のチャンネル番号	6
無線LAN2の暗号モード	WPA2 Mixed
無線LAN2のBSSID	00:10:38:
無線LAN2のクライアント数	0

LAN情報(GM3)

LANポートIPアドレス	192.168.0.1
LANポートサブネットマスク	255.255.255.0
LANポートMACアドレス	00:10:38:
DHCPサーバーの状態 (Active=有効、Inactive=無効)	Active
eth0ポートのリンク状態	Link Up
DDNSのドメイン名	

登録日時: 2024/05/09 18:49:02

閉じる

「閉じる」ボタンをクリックして下さい。ステータスメールログ一覧に戻ります。

4-17.デバイスオペレーションログ(管理者・ユーザーが操作可能)

デバイスオペレーションログメニューでは、デバイスに対して MRL-IDM 上から行った操作、WEB 通信で遠隔からデバイスの設定などのログを閲覧することができます。

確認

デバイスオペレーションログが保存されるのは、MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズのみです。

管理者でログインすると、自社のデバイスグループ分が一覧に表示されます。

ユーザーでログインすると、自分が管理するデバイスグループ分のみの一覧が表示されます。

デバイスオペレーションログ

検索条件

設置場所

デバイスグループ

機種

機器名称

S/N

IPアドレス

MACアドレス

期間

～

検索

デバイスオペレーションログ一覧 5件

10 行ごとに表示

フィルター検索:

エクスポート

登録日時	設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称	S/N	IPアドレス	MACアドレス	ログ種別	ログ内容
2024/03/18 18:46:34	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM30		00:10:38:	WEB通信	詳細
2024/03/15 15:49:26	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM30		00:10:38:	WEB通信	詳細
2024/03/15 15:37:57	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM30		00:10:38:	WEB通信	詳細
2024/03/15 15:37:37	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM30		00:10:38:	WEB通信	詳細
2024/03/15 15:36:26	海岸ビル9F	01グループ	MR-GM3-M	海岸ビルA棟9F	GM30		00:10:38:	WEB通信	詳細


5件中 1 ～ 5 件目 表示

← 前

1

次 →

画面の説明: 検索条件	
設置場所	設置場所を指定します。
デバイスグループ	デバイスグループを選択します。
機種	機種を選択します。。
機器名称	機器名称を指定します。
S/N	シリアル No を指定します。
IPアドレス	IP アドレスを指定します。
MACアドレス	MAC アドレスを指定します。
期間	ログ期間を指定します。

画面の説明:一覧	
フィルター検索: <input type="text"/>	操作日時、設置場所、デバイスグループ、機種、機器名称、S/N、IP アドレス、MAC アドレス、ログ種別など一覧に表示されている項目の部分一致で絞り込みをかけられます。
操作日時	操作した日時を表示します。
設置場所	デバイス登録時に設定した設置場所を表示します。
デバイスグループ	デバイスグループを表示します。
機種	機種名を表示します。
機器名称	デバイス登録時に設定した機器名称を表示します。
S/N	デバイス登録時に設定したシリアル No が表示されます。
IP アドレス	デバイスの WAN 側 IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	デバイス登録時に設定した MAC アドレスが表示されます。
ログ種別	「WEC通信」と表示されます。
<div>詳細</div>	詳細画面が開きます。
<div>  エクスポート </div>	今画面に表示されている内容が CSV でエクスポートされます ビジネスプランのみの機能となります。

4-17-1.詳細

該当ログの「詳細」ボタンをクリックして下さい。



デバイスに対して行った操作「WEB 通信」のログの内容が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックして下さい。デバイスオペレーションログ一覧に戻ります。

5.MRL-IDM に関するお問い合わせ

MRL-IDM に関するお問い合わせは、サポート直通電話番号にお電話下さい。



お問い合わせ頂く前に、サポート規定をご確認下さい。

MRL 製品サポート規定 <https://www.mrl.co.jp/supports/support-policy/>

株式会社マイクロリサーチ ユーザーサポートセンター

■サポート直通電話番号：03-3458-9031

土日、祝日を除く 10:00～12:00、13:00～17:00

■サポート直通 FAX 番号：03-3458-9030

■インターネットホームページ

URL：<https://www.MRL.co.jp>（トップページ）

当社からのお知らせ、最新情報の提供を行っています。

お問い合わせいただく際のお願い

お電話でお問い合わせいただく際に、弊社から本人確認をさせていただきます。

・管理者名、ユーザー名、住所、MRL-IDM のログイン ID
をご準備下さい。

お問い合わせいただく際に必要な情報：

- ◆登録されている企業名（管理者名）
- ◆登録されている住所
- ◆登録されているユーザー名（ユーザーアカウントに関する問い合わせの場合）
- ◆MRL-IDM のログイン ID
- ◆お問い合わせ内容

